令和元年度(2019年度)

事業報告書

三重県松阪市上川町 3821 番地 2

社会福祉法人 三重高齢者福祉会

[目 次]

社会福祉法人三重高齢者福祉会(全体)							
I.この一年間のまとめ							P 1
Ⅱ.私たちのこの一年間の主な取組み							P 2
Ⅲ.部門別事業のまとめ							P6
IV.施設(概要)							P8
IV.旭設(佩安) V.職員の状況							
V.4収臭の状況 VI.利用者の処遇							P8 P8
VI.法人本部業務							P9
Ⅷ.各事業及部署年間状況報告(数値)	•	•	•	•	•	•	P 12
在宅複合型施設協和苑 I.在宅複合型施設協和苑全体			•		•	•	P16
Ⅱ.通所介護事業所(デイサービス)活動報告							P 21
Ⅲ.短期入所生活介護事業所(ショートステイ)活動報告							
IV.居宅介護支援事業所活動報告							P 26
V.健康増進部活動報告	•	•	•	•	•	•	P 27
特別養護老人亦一厶愛生苑							
I.入居者等の状況	•	•	•	•	•	•	P 28
Ⅱ.申込・待機者の状況	•	•	•	•	•	•	P 28
Ⅲ.主な取組内容	•	•	•	•	•	•	P 28
Ⅳ.各部の取組報告	•	•	•	•	•	•	P30
V.活動実施報告	•	•	•	•	•	•	P31

令和元年度(2019年度)社会福祉法人三重高齢者福祉会事業報告

I.この一年間のまとめ

1.世界史的災禍に直面し考え、取り組んでいきたいこと。

2019 年末に端を発した新型コロナウィルス禍は 5 月現在で感染者数およそ 450 万人、死亡者数 30 万人という、全世界の人々の命と暮らしを直撃するパンデミックとなっています。時間・空間的 にこれほど大規模にわたる災禍は、世界史的にも特筆されるであろうし、これまでの私たちの社会 (生活)のあり方を問い、またこれからのあり方に大きな課題を突きつけられた気がします。いわば、これまでの課題・問題が一機に浮き彫りになったのではないでしょうか。以下、この状況をどう捉え、どう取り組んでいけばよいか振り返ってみましょう。

- (1) 人々が自由に国境を越え行き交うグローバリズムの拡大、経済成長を至上とする世界的開発行為が、気候変動等も含め私たちの自然生態系を変えてきたことが近年の新感染症等(サーズ、マーズ、豚コレラの出現等)を招くリスク要因としてあげられています。
- (2) また、デジタル技術の進展が感染拡大を抑えこむ方策として、個人情報を利用すること等が人権保護と監視社会の観点から見逃せない問題にもなっています。
- (3) 緊急策としては、終息が見通せるまで、命を守る医療体制・暮らしを守る生活保障等に、国が最大限の予算を投入することを強く要求する必要があります。「公助」以外に現局面を乗りきれる力はないことへの国民的合意はあると思います。
- (4) およそ 100 年前のパンデミック「スペイン風邪」は、第一次世界大戦を終結させる一因となったともいわれるほど、大きな影響を与えたと言われています。

【「コロナ後」の社会展望について、様々の意見が発信されつつあります。】

- ①グローバリズム・国際分業(サプライチェーン)が反転し、国際協調の波が一段と弱まり 一国主義や地域間ブロック化が強まるであろう。
- ②拡大・成長のありかたを見直し、仕事と生活のバランスをより重視していかなければならない時世か。(バリバリの成長論者達の自戒の弁)
- ③国民国家から世界共和国を理念とし世界連帯を推進拡張すべき。
- ④テレワーク・遠隔医療・オンライン授業等の普及で分散・間接型社会になっていく。
- ⑤物の所有から共有(シエアー)など、モノからコト(サービスや情報)社会へのシフトが加速するのではないか。
- (5) これほど広範囲・長期に亘る災禍に直面し、私たちはあらためてこれまで言われてきたことを、身を持って感じたのではないでしょうか。それは、①命の有限性②生活の絶対性③人権の天賦性です。一方、常にこれらに大きな影響を与え左右してきたのが④無限の欲望であったということでしょう。

以上のことから私たちは何を軸に、どうしていくべきかの論点整理が出来ると思います。それは、 次項2『この一年間注力してきた基本課題』に繋がっていくテーマそのものでもあります。

2.この一年間注力してきた基本課題

2019 年度、私たちは折に触れ『基本理念』『倫理綱領(行動指針)』に立ち返り事業運営に取組んできました。目指す目標・目的を再確認しモチベーションも維持していくためです。

2015 年 9 月、国連サミットで採択された『SDG s』は、2030 年までに全世界が達成をめざす 17 からなる「持続可能な開発目標」です。 飢餓・貧困・平和・人権・気候変動等々、現在国際社会が抱え

ている基本問題の解決、地球上の誰一人取り残さないことを目標に掲げています。この度のパンデミ ックはこうした諸問題が他人事・未来のことではなく、待ったなしに連帯して取組むべきことを、私 たちに突きつけました。

私たちも『SDG s 』に呼応しキーワードの『持続可能性』・『共生』を念頭に事業運営に注力してきま した。

Ⅱ. 私たちのこの一年の主な取組

1.私たちが活動の基本として取組んだこと。

- ①利用者・入居者、地域社会との向き合い方・関係づくり、働き方の基本指針として 『基本理念』『倫理綱領(行動指針)』の認識を深めるよう喚起してきた。
- ②日常行動指針として"よく食べ、よく話し、よく動く"をスローガンとして、日頃の実践を促し
- ③「働き方改革」に関しては、「協同労働」「全員経営」を軸に理念・仕組みを追究。
- ④組織の活性化・次代を担う体制づくりの推進。
- ⑤事業継続・職場環境改善のための設備・機器等の補修及び更新・計画の検討。
- ⑥持続可能な安定経営(収支予算管理)を不断の注視・注力でマネジメントしてきた。

2. 具体的な主なうごき・取組等

【法人全体関係】

①任期満了に伴う役員(理事・監事)の補充選任

定時評議員会にて選任

R1.06.19

②欠員に伴う評議員の補充選任

評議員・選任解任委員会にて決議

R2.03.12

③欠員に伴う評議員選任・解任委員の補充選任

第6回理事会にて選任

R2.03.17

④欠員に伴う第三者委員の補充選任

第6回理事会にて選任

R2.03.17

⑤パート職員の時間給改定

賞与を時間給に参入し賞与支給を廃止 R1.05.16~

⑥特定処遇改善加算金の支給開始

 $R2.01\sim$

⑦新型コロナウイルス感染予防対策

R2.02~

⑧一般社団法人上川工業団地への入会 R2.03.03

9例規類等の改定

・定 第01条(目的) 款

H31.4.19

・定款細則

第 12 条(理事長等の専決事項)

R1.10.01

・業務監理規程 第 04 条(役職員の区分及び職務分掌) R1.10.01 第03条(本会の組織)

R2.05.01

・パートタイム労働者の正職員転換措置

R1.09.01

- ⑩重点事業計画・運営等の検討・協議の推進
 - · 短期入所生活事業増床等
- ・組織運営機構・会議体の見直等

【協和苑関係】

①事業指定更新申請

・通所介護事業指定更新申請	R1.11
· 短期入所生活介護事業指定更新申請	R1.12
・第 1 号通所介護事業指定更新申請	R2.02
・居宅介護支援事業指定更新申請	R2.02

②管理者の変更

通所介護及び短期入所生活介護 R1.07.01

③入退職者

・入職者:正職員4名

・退職者:正職員3名・パート1名 ④設備・修繕・調達等(主な品目・概算)

・軽自動車購入 R1.08 909 千円 ・スチームコンベクション買替 R1.09 2,216 千円 ・ディルーム畳室改修 R1.09 570 千円

・パソコン購入・OS 移行 R1.11 572 千円

・水周り関連(配管・特浴)修繕 R1.09~R2.02 1,657 千円

⑤事故発生状況

*通所介護:発生件数19件(転倒·転落8件、服薬6件、表皮剥離·切傷2件、他3件)

*短期入所生活介護::発生件数 89件(転倒·転落 55件、表皮剥離·擦り傷・切傷 11件、服薬時事故 11件、打撲·内出血 4件、入浴時事故 3件、火傷・熱傷 1件、その他 4件)

⑥苦情受付(通所介護 3 件、短期入所生活介護 5 件)

【愛生苑関係】

①社会福祉法人施設等指導監查 R1.11.08

②職員個人面談 R1.12~R2.04

③入退職者

・入職者:正職員1名 ・退職者:正職員2名

4)事故発生状況

*発生件数は45件(表皮剥離20件、転落・ずり落ち9件、擦り傷・切り傷6件、誤薬5件、 皮下出血2件、転倒1件、骨折1件、打撲・裂傷1件)

⑤苦情受付2件

3.介護保険事業活動概況〈事業高関係〉

【法人全体】

- *法人総事業高は4億437万円で前年比100.1%、29万円増。
- *人件費は2億9,190万円で前年比95.5%、1,373万円減。
- *物件費は7,453万円で前年比103.1%、221万円増
- * 当期活動増減差額は 1,920 万円で前年比 275.0%、1,222 万円増。

【協和苑】

- *協和苑総事業高は2億700万円で前年比97.42%、542万円減。
- *通所介護事業高は8,612万円で前年比93.3%、612万円減。
- *短期入所生活介護事業高は1億1,457万円で前年比100.6%、70万円増。
- *居宅介護支援事業高は1,291万円で前年比103.4%、42万円増。

【愛生苑】

* 愛生苑総事業高は 1 億 9,076 万円で前年比 102.8%、529 万円増

4.行政、地域及び関係諸団体との主な連携活動

(1) 県・市行政関係

05/28	社福法人役員及び幹部職員研修会	津リージョンプラザ
06/14	介護サービス集団指導(通所系)	クラギホール
06/14	介護サービス集団指導(施設系)	クラギホール
07/30	県集団指導(居宅介護支援)	マーム
08/23	松阪多気衛生管理者のつどい	松阪合同庁舎
08/27	短時間労働者の雇用管理改善等に基づく報告徴収	津地方合同庁舎
08/30	公正採用選考研修会	県松阪庁舎

11/08	県社福法人施設等指導監査	愛生苑
11/21	高齢受刑者介護研修見学(三重刑務所)	協和苑・愛生苑
11/22	消防立入り調査	協和苑・愛生苑
11/29	介護サービス情報公表提出	県子ども・福祉部
(a) 1111-15 pp #		
	系諸団体との連携 - 地域ケスネット 実営委員会	
04/15	地域ケアネット運営委員会	松阪地区医師会館
04/15	ふれあい広場	協和苑
04/22	市介護サービス連絡協運営委員会	松阪市役所
05/20	地域ケアネット運営委員会	松阪地区医師会館
05/20	第1回キャリアパス研修	協和苑
06/01·02	日本高齢者生協連合会全国総会	東京
06/18	地域ケアネット運営委員会	松阪地区医師会館
06/22	市介護サービス連絡協総会	産業振興センター
06/24	三重県健康福祉生協第 26 回通常総代会	市民活動センター
06/30	県ディ協中南勢地区研修会	ワークセンター松阪
07/01	市指導監査確認検査	協和苑
07/18	市介護サービス連絡協研修会	橋西地区市民センター
07/22	地域ケアネット運営委員会	松阪地区医師会館
07/30·31	キャリアパス対応生涯研修	県社協
08/01	安全運転管理者講習	華王殿
08/08	吉田福祉基金研修	吉田福祉会館
08/23	地域ケアネット運営委員会	松阪地区医師会館
08/28	上川工業団地管理組合臨時総会	松阪商工会議所
09/18	市介護サービス連絡協運営委員会	松阪市役所
10/04	市介護サービス連絡協防災研修会	産業振興センター
10/09	吉田福祉基金研修	吉田福祉会館
10/15	通所介護事業所指定更新説明会	伊勢庁舎
10/24	RUN TOMO 松阪川-ト開催	松阪市内
11/05	東海関西地域協同労働推進会議	大津市
11/07	キャリアパス対応生涯研修	県社福会館 *2007年
11/08	市り連協居宅部会研修(生活リハビリ)	協和苑
11/13	キャリアパス研修(高齢者虐待防止)	名古屋へいわ会館
11/14	吉田福祉基金研修会	吉田福祉会館
11/15	松阪労基局労災防止要請行動	協和苑
12/05	吉田福祉基金研修会(認知症予防レク)	吉田福祉基金
01/10	市介護サービス連絡協運営委員会	松阪市役所
01/16	吉田福祉基金研修会(リーダー育成)	吉田福祉会館
01/30	地域ケアネット 市サ連協ウエルカム講習会	松阪地区医師会
02/01 02/02	中り建協ウエルカム調督会 上川町自治会総会	産業振興センター 上川集会所
•		上川朱云川 高田町集会所
02/02 02/05	高田町自治会総会 働き方改革関連法説明会	同田町朱云が 県総合文化センター
02/05	関さり以中民連伝説明云 県ディ協中南勢研修会	県総古文化 ピンダー ワークセンター松阪
•	デノイ 励中国 労可修会 上川工業団地管理組合総会	華王殿
02/17	上川上未凶 心 目垤柏口秘云	平工规
(3)学校関係人	∠の交流又は研修受入(協和苑)	
06/04·07		協和苑
06/10·11·12		W 1870
20, 20 22 22	- 1 · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	協和苑
06/19·21		協和苑
, 		

07/22·23 教職員職場体験 徳和小 2 名 協和苑 07/29 教職員職場体験 第二小 1 名、港小 1 名、 協和苑 07/30 教職員職場体験 第二小1名 協和苑 07/31·08/01 県社協初任者研修実地研修 協和苑 08/05 教職員職場体験 港小1名 協和苑 08/05~09 教員免許介護体験(学生) 協和苑2名、愛生苑2名 08/19~23 教員免許介護体験(学生) 協和苑2名、愛生苑2名 09/09~13 教員免許介護体験(学生) 協和苑1名

(4)機関会議・主要行事等

- *評議員会 定時評議員会 R1.06.19 臨時評議員会 R2.03.25
- *理事会 第1回 R1.06.03、第2回 R1.06.19、第3回 R1.09.09 第4回 R1.12.10、第5回 R2.02.21、第6回 R2.03.17
- * 監事監査 R1.06.03
- *第三者委員会 第1回 R1.6.19
- *評議員選任解任委員会 R2.03.12
- *法人本部会議 月2回開催
- * 人事委員会 随時
- *職員全体会議 4回開催 R1.04.16 R1.07.1 R1.10.15 R2.01.13
- * 各種委員会 各定期開催
 - ・リスクマネジメント委員会(感染症対策、防災対策、苦情相談、事故防止)
 - · 衛生委員会(労働安全衛生)
 - ・総務委員会(研修、学習、広報)
 - ·身体拘束防止委員会
 - ・入居検討委員会
- *各事業部会 原則 月1回
 - ・通所、短期入所、居宅介護支援、健康増進
 - ・特別養護老人ホーム(職員全体会議開催月を除く。)
 - ・ユニットリーダー会議(特養)
- * 各研修会
 - ·新規職員研修

別紙:事業部別活動報告参照

* 防災・救急救命訓練等

・秋季消火・	避難総合訓練	(協和苑)			R1.11.06
・秋季消火・	避難総合訓練	(愛生苑)			R1.10.02
・春季消火・	避難総合訓練	(協和苑)			R2.03.31
・春季消火・	避難総合訓練	(愛生苑)			R2.04.08
*夏祭り	協和苑	R1.08.05	交	受生苑	R1.08.21
* 定期健康診断	協和苑	R1.12.05	2	受生苑	R1.12.06
工厂工艺法住人		D4 42 44			

*年末交流集会 R1.12.11

(5) ニュース等の発行(毎月)

- *『協・愛すまいる新聞』『職員ニュース』
- *法人案内パンフレット作成発刊

Ⅲ.部門別事業のまとめ

1.通所介護

(1) 利用状況

・実利用者数(平成31年4月~令和2年3月の月平均)

男性 19.4名(28.2%) 女性 49.3名(71.8%) 計68.7名

・年齢別登録状況(令和2年3月31日現在)

年齢	人数(人)	比率 (%)	年齢	人数(人)	比率 (%)
~74 歳	5	6.4	85~89 歳	25	32.0
75~79 歳	13	16.7	90 歳~	23	29.5
80~84 歳	12	15.4	合 計	78	100.0

(2) 介護度別利用状況

・月平均利用実人員 68.7 人(前期比 83.1%)・1日平均利用人数 24.2 人(前期比 91.7%)

・年間介護度別利用割合(平均要介護度 2.6)男:2.5 女:2.6

介護度	年間利用延人員(人)	比率 (%)	介護度	年間利用延人員(人)	比率 (%)
要支援①	54	0.6	要介護 3	2,665	30.5
要支援②	0	0.0	要介護 4	1,565	17.8
要介護 1	1,546	17.6	要介護 5	342	3.9
要介護 2	2,597	29.6	合 計	8,769	100.0

(3) 地区別利用状況(平成30年4月~平成31年3月 実人員127人)

地区名	人数	地区名	人数	地区名	人 数
下村町	17	垣鼻町	6	東黒部町	2
久保町	10	大黒田町	4 丹生寺町		2
上川町	9	伊勢場町	3	その他	53
虹ヶ丘町	8	田原町	3		
豊原町	7	大津町	3	計	127

2.短期入所生活介護

(1) 利用状況(退所日を含める。)

・月平均利用実人数
 ・1日平均利用人数
 ・1人当月平均利用日数
 ・平均要介護度
 61.9人(男20.1人女41.8人)
 28.6人(男9.5人女19.0人)
 14.1日(男14.5日女13.9日)
 3.1 (男3.1 女3.1)

(2) 介護度別利用割合

介護度	年間延利用日数	比率 (%)	介護度	年間延利用日数	比率 (%)
要支援①	0	0.00	要介護 3	4,337	41.48
要支援②	11	0.11	要介護 4	3,185	30.46
要介護 1	633	6.05	要介護 5	465	4.45
要介護 2	1,824	17.45	合 計	10,455	100.0

・年齢別、性別利用状況(令和2年3月31日)

性別利用割合 男性:女性=33:67

平均年齢 87.3 歳 (男:87.2 歳 女:87.3 歳) 平均入所日数 67.0 日 (男:114.1 日 女:40.9 日)

3.居宅介護支援事業(令和2年3月分)

(1)介護度別ケアプラン数 97 件

	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計
ケアフ°ラン数	6	7	19	33	15	12	5	97
比率(%)	6.2	7.2	19.6	34.0	15.5	12.4	5.1	100.0

(2) 男女別ケアプラン数 97件

	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計
男	0	2	4	12	7	2	1	28(28.9%)
女	6	5	15	21	8	10	4	69(71.1%)

(3) 年齢別ケアプラン数 97件

	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計
~69	0	2	2	1	0	1	1	7(7.2%)
70~79	5	2	6	4	6	2	3	28(28.9%)
80~89	1	3	9	16	6	3	1	39(40.2%)
90~99	0	1	2	11	3	6	0	23(23.7%)
100~	0	0	0	0	0	0	0	0(0.0%)

4.地域支援事業(松阪市委託事業)

- *利用実績(月平均利用実人員)
- ·松阪市生活管理指導短期宿泊運営事業 0人

5.在宅介護支援センター

*周辺地域から直接の相談有り。居宅介護支援事業所でのケアプラン引き受けました。

6.健康增進部

- *一日当たり食数協和苑102食、愛生苑約120食でした。
- *栄養バランス、薄味を基本に殆ど手作りで一日3回調理し提供しました。 鮮度等の一層の向上化に向け食材の仕入先も一部変更しました。
- * 愛生苑は毎日の食事が全て苑内にてなされるため、個別栄養管理が特に求められます。管理栄養士を中心に個別管理を強化しました。

7.特別養護老人ホーム愛生苑 (定員 40 人)

*月平均利用者数 39.7 人 (男 10.3 人、女 29.3 人)

*月平均利用実人員数 40.5 人 (男 10.6 人、女 29.9 人)

*利用延べ人数(令和1年度) 14,512人(男3,774人、女10,738人)

*介護度(令和2年3月現在)

介護度3 8人(男1人、女7人) 介護度4 21人(男5人、女16人) 介護度5 11人(男5人、女6人)

*平均介護度 4.0 (男 4.2、女 3.9)

*平均年齢 89.6 歳 (男 85.5 歳、女 91.1 歳)

【入所期間別入所者数】

期間	人数	期間	人数
1~6ヶ月未満	3人	2年~3年未満	5人
6ヶ月~1年未満	5人	3年~4年未満	4人
1年~2年未満	9人	4年~	14 人

^{*}平均入所期間 34.9 ヶ月(1,045.8 日)

【年齢、性別入所者数】

	65~69 歳	70~74 歳	75~79 歳	80~84 歳	85~89 歳	90 歳~
男	1	0	1	1	3	5
女	0	0	1	4	5	19
計	1	0	2	5	8	24

Ⅳ. 施設(概要)

1.協和苑

施設種別	在宅複合型施設	事業内容	老人短期入所施設
運営主体	社会福祉法人三重高齢者福祉会		利用定員 30 名
所在地	松阪市上川町 3821 番 2		通所介護施設
敷地面積	1,177.69 m ²		利用定員 40 名
構造規模	鉄筋コンクリート鉄骨造瓦・鋼板葺3階建		訪問介護ステーション
	1,687.91 m ²		在宅介護支援センター
	1階 630.15㎡		
	2階 643.99㎡		
	3階 413.77 m ²		

2.愛生苑

施設種別	特別養護老ホーム	事業内容	介護老人福祉施設
運営主体	社会福祉法人三重高齢者福祉会		(ユニット型)
所在地	松阪市上川町 3461 番地 36, 37		利用定員 40 名
敷地面積	3,768.78 m ²		
構造規模	鉄筋コンクリート造陸屋根2階建1,922.94㎡		
	1階 1,128.77㎡		
	2階 794.17 ㎡		

V. 職員の状況(令和2年3月31日現在)

協和苑 男13人 女37人

וינונוו	77 77		,, , <					
	施 設 長	1	総務員	2	ケアマネシ゛ャー	3	看護員	5
	生活相談員	2	介護員	27	栄養士	2	調理員	6
	送迎運転手	1	配置医師	1			合 計	50
愛生	主苑 男 5人	女	2 9人					
	施 設 長	1	総務員	1	ケアマネシ゛ャー	1	看護員	2
	生活相談員	1	介護員	21	栄養士	2	調理員	3
			配置医師	1	管理栄養士	1	合 計	34

VI. 利用者の処遇

1.健康管理、機能訓練、レクレーション

- ①健康管理については、バイタルチェック、アクティビティ、パワーリハビリ、ウオーターベッド、 機能訓練、口腔ケア、音楽療法また必要に応じて往診、病院への救急移送を実施しました。
- ②給食は栄養バランスと味に留意した献立に基づき手作りのものを提供しました。
- ③レクレーションとして、塗り絵、カレンダーづくり、音楽療法、誕生会等実施しました。
- ④ボランティアの方々による民謡、舞踊、合唱等の参加協力もしていただきました。
- ⑤通所・入所の利用によって心身が元気になり、在宅での生活がより充実出来るように次の日課を基本に処遇に努めました。

-				
	時 刻	主な日課	時 刻	主な日課
	8:30	デイサービス迎え	12:00	昼食
	9:15	デイサービス開始	13:00	レクリエーション
		バイタルチェック	15:00	おやつ・レクリエーション
	10:00	準備体操・入浴		リハビリ体操
		機能訓練・レクリエーション	16:20	デイサービス送り

2.実施した主な年間行事

月	内 容	月	内 容	月	内 容
4月	花見	8月	夏祭り・盆踊り	12月	クリスマス
5月	端午の節句	9月	敬老会	1月	正月
6月	園芸療法	10月	遠足	2月	節分・豆まき
7月	七夕	11月	文化祭	3月	ひな祭り

Ⅷ.法人本部業務

1.役員会等運営

(1)評議員会

開催日	議案等内容		
6月19日	第1号議案 平成 30 年度 事業報告(案)について		
	第 2 号議案 平成 30 年度決算報告(案)について		
	第3号議案 任期満了に伴う役員(理事・監事)の選任について		
3月25日	第1号議案 令和元年度 資金収支第1次補正予算(案)について		
	第2号議案 令和2年度 事業計画(案)について		
	第3号議案 令和2年度資金収支当初予算(案)について		

(2) 理事会・監事監査

(2)垤尹云:	血于血且
開催日	議案等内容
5月26日	令和元年度における理事の業務執行、計算関係書類及び事業報告等の監査
6月3日	第1号議案 平成 30 年度 事業報告(案)について
	第2号議案 平成30年度 決算報告(案)について
	第3号議案 任期満了に伴う役員の選任候補者について
	第4号議案の名の元年度定時評議員会の招集と議案内容について
6月19日	第1号議案 理事長職務執行状況報告について
	報告事項 任期満了に伴う新役員の選任報告
	第2号議案 理事長の選定について
	第3号議案 業務執行理事の選定について
9月9日	第1号議案 理事長及び業務執行理事職務執行状況報告について
	第2号議案 定款細則の一部改正(案)について
	第3号議案 業務管理規程の一部改正(案)について
12月10日	第1号議案 理事長及び業務執行理事職務執行状況報告について
	第2号議案 令和2年度 事業計画(骨子)について
	第3号議案 令和2年度 資金収支予算(骨子)について
	報告事項 社会福祉施設指導監査結果報告(令和元年 11 月 8 日実施)
3月2日	第1号議案 評議員選任・解任委員会の招集について(書面決議)
3月17日	第1号議案 理事長及び業務執行理事職務執行状況報告について
	第2号議案 令和元年度 資金収支第1次補正予算(案)について
	第3号議案 令和2年度 事業計画(案)について
	第4号議案 令和2年度資金収支当初予算(案)について
	第5号議案 業務管理規程の一部改正(案)について
	第6号議案 評議員選任・解任委員の選任について
	第7号議案 第三者委員の選任について
	第8号議案 評議員会の召集について

(3) 評議員選任・解任委員会

開催日	議案等内容
3月12日	第1号議案 新評議員の選任について

(4) 第三者委員会

開催日		議案等内容
6月19日	1.第三者委員について	2.平成 30 年度 苦情相談内容報告

2.法人本部会議等検討事項(重要案件抜粋)

	央扒事項 (里安条什扱秤) 	結 果
件名	詳細	
施設整備計画(広 域型)	令和 2 年度介護老人福祉施設等整備方針(三重県)整備床数 60 床	見送り
施設整備計画(単 独事業)	短期入所生活介護事業 10 床増床計画・ 3 F 高齢者シェアハウス計画	継続検討
時間給改定	時間給職員への支給基準の検討	年間賞与予定額を時間給に加算 (5 月支給分から適用)
軽車両購入	訪問等用軽車両の購入	軽車両購入 909,000 円
介護職員等特定処	令和2年10月介護報酬改定に伴う特定	全職員対象
遇改善金支給基準	処遇改善加算の支給基準(配分方法)の 検討 	介護福祉士取得者及び 10 年以上の勤務経験者を中心に A ~ C グループに分け配分(1 月支給分から適用)
介護報酬改定	令和2年10月介護報酬改定内容の周知	各事業内で周知の上、利用者等連絡・ 契約書類等の改定を行う。
和室改修	通所介護事業所の和室を利用者休息スペ ースへ改修	改修工事実施 520,000 円
厨房機器購入	経年劣化したスチームコンベクションの 入れ替え購入	購入決定 2,216,160 円
内部統治機能強化	ブランチ(愛生苑)管理機能強化	本部職員の巡回相談の実施 総務機能の分担と協力調整 継続審議
給食提供体制	施設給食親子方式・メニュー簡素化 業務連携・一部(全部)業務委託等	継続検討
記録システム導	短期入所生活介護事業所での記録システ	購入決定 923,508 円
入・補助金活用	ム(ワイズマン)導入と三重県地域医療 総合確保基金ICT導入補助金の活用	補助金 300,000 円
CO2 ポイテンシ	低炭素機器導入事業補助金の活用条件等	令和2年度に実施決定
ヤル診断	を得るための CO2 ポイテンシャル診断 の活用	
組織機構の見直し と給与基準の全面 精査	組織機構の明瞭化と役職・職種階層に適 応した給与基準の全面精査	組織機構の見直しは令和2年度5月から実施、給与基準の全面精査は令和3 年度実施に向け継続審議
特浴装置の導入	劣化機器の入れ替え(協和苑)、職員就 労環境改善(愛生苑)のため、座位式特 殊浴槽の購入と補助金活用	令和 2 年度購入決定 4 月協和苑、7 月愛生苑 ※人材確保等支援助成金活用
その他	法人パンフレット	作成決定
	その他修繕・契約・備品購入	随時検討・決定
	新型コロナウィルス感染症防止対策	随時施行

3.職員の人事・入退職状況

(1) 新規採用者

日付	事業所・職種	備考
4月5日	協和苑:健康増進部・パートタイム調理補助員	新規採用❶
6月1日	協和苑:通所介護事業・介護職員	新規採用❷
7月30日	協和苑:健康増進部・パートタイム調理補助員	新規採用
8月17日	協和苑:健康増進部・パートタイム調理補助員	新規採用❸
9月16日	協和苑:通所介護事業・介護職員	新規採用
9月17日	協和苑:健康増進部・パートタイム調理補助員	新規採用❹
10月7日	協和苑:健康増進部・調理補助員	新規採用
11月1日	協和苑:短期入所生活介護事業・介護職員	新規採用
12月1日	愛生苑:特別養護老人ホーム・生活相談員兼介護職員	新規採用

(2) 退職者

	市光厂 助任	/ ** +/
日付	事業所・職種	備考
4月30日	愛生苑:特別養護老人ホーム・生活相談員	一般退職
5月15日	協和苑:健康増進部・パートタイム調理補助員	一般退職❶
5月4日	協和苑:短期入所生活介護事業・介護職員	一般退職
7月15日	協和苑:居宅介護支援事業・介護支援専門員	定年退職
8月15日	協和苑:健康増進部・パートタイム調理補助員	一般退職
8月21日	協和苑:短期入所生活介護事業・介護職員	一般退職
10月3日	協和苑:健康増進部・パートタイム調理補助員	一般退職4
10月15日	協和苑:健康増進部・パートタイム調理補助員	定年退職
1月15日	協和苑:健康増進部・パートタイム調理補助員	一般退職❸
1月7日	愛生苑:特別養護老人ホーム・介護職員	一般退職
2月29日	愛生苑:特別養護老人ホーム・看護職員	一般退職

(3) 人事異動他

日付	事業所:事業所・職種 [()内:旧事業所・職種]	備考
5月1日	協和苑:通所介護事業・生活相談員(同事業・介護職員)	職種変更
5月1日	協和苑:居宅介護支援事業・介護支援専門員(通所介護事業・生活相談員)	部署異動
5月1日	協和苑:居宅介護支援事業・管理者	新規登用
7月1日	協和苑:通所介護事業/短期入所事業・管理者	新規登用
10月16日	愛生苑:特別養護老人ホーム1丁目リーダー(同事業・5丁目リーダー)	部署異動
10月16日	愛生苑:特別養護老人ホーム 5 丁目リーダー(同事業・1 丁目リーダー)	部署異動
11月16日	協和苑:短期入所生活介護事業・介護職員(通所介護事業・介護職員兼生活相談員)	部署異動
11月16日	協和苑:通所介護事業・介護職員兼生活相談員(同事業・介護職員)	職種変更❷
11月1日	協和苑:短期入所生活介護事業・職員1名	戒告通知
12月16日	愛生苑:特別養護老人ホーム介護職員(同事業・生活相談員兼介護職員)	職種変更
1月16日	協和苑:通所介護事業・介護職員(同事業・パートタイム介護職員)	職員転換

^{※●~●}番号は同職員

4.指定更新・変更届・体制届

	文义/田 件	, h))/EI	
種別	実施日付	事業所	内 容
変更届※1	5月1日	協和苑:居宅介護支援事業所	管理者の変更
変更届	5月1日	協和苑:通所介護事業	生活相談員の変更
変更届	5月1日	協和苑:通所型サービス	生活相談員の変更
変更届	7月1日	協和苑:通所介護事業	管理者の変更
変更届	7月1日	協和苑:通所型サービス	管理者の変更
変更届	7月1日	協和苑:短期入所生活介護(予防含)	管理者の変更
変更届	7月16日	協和苑:居宅介護支援事業	介護支援専門員の変更
体制届※2	10月1日	協和苑:短期入所生活介護(予防含)	介護職員等特定処遇改善加算Ⅱ算定
体制届	10月1日	協和苑:通所介護事業	介護職員等特定処遇改善加算Ⅱ算定
体制届	10月1日	協和苑:通所型サービス	介護職員等特定処遇改善加算Ⅱ算定
変更届	11月16日	協和苑:通所介護事業	生活相談員の変更
変更届	11月16日	協和苑:通所型サービス	生活相談員の変更
変更届	3月1日	愛生苑:特別養護老人ホーム	看護職員の変更
更新届※3	4月1日	協和苑:通所介護事業	指定更新(6 年毎)
更新届	4月1日	協和苑:通所型サービス	指定更新(6 年毎)
更新届	4月1日	協和苑:短期入所生活介護(予防含)	指定更新(6 年毎)
更新届	4月1日	協和苑:居宅介護支援事業	指定更新(6 年毎)
変更届	4月1日	愛生苑:特別養護老人ホーム	介護支援専門員の追加
変更届	4月1日	協和苑:通所介護事業	サービス提供時間変更
変更届	4月1日	協和苑:通所型サービス	サービス提供時間変更
体制届	4月1日	協和苑:短期入所生活介護(予防含)	サービス体制強化加算 I ロ

^{※1} 介護保険事業所指定に係る変更届出書 ※2 介護給付費等算定に係る体制等に関する届出書

^{※3} 介護保険事業所指定に係る更新届出書

垭.各事業及部署年間状況報告

				氘	令和元年	年度(2019年度		通所介護事業所協和苑	事業月	所協和9		年間状況報告					
一直	/暦月	4月	5月	6 9		7月	8月	9月	=	10月	11月	12月	1月	2月	3月	₫ □	合計·平均
営業日数	数			30								30		29	31		362 日
全体	全体	752 日	735 H	744		771 B	718 日		Н	735 H	730 H	∃ 733 ⊟	H 969	日 889	∃ 759 ⊟		8,766 日
利用日数	男件	226 日	201 B	210	ш		208 日	206 E			219 E	198	185 H	198	222		2,484 日
	女性	256 日		534						528 日	511 B	535		490	537		6,282 日
1日平均利	用者数	25.07 人	23.71 人	24.80	7	24.87 人	23.93 人	23.50	人 24.50		24.33 人	24.43	23.20 人	23.72	24.48		24.22 人
稼働率	操	62.67 %	59.27 %	62.00		62.18 %	59.83 %	58.75		61.25 %	60.83 %	6 61.08 %		59.31	61.21		60.54 %
	全体	人 87	71 人	69	~	子 89	子 69	69	7	子 69	Y 29	子 99	丫 99	7 99	7 IV	平均	子 29.89
利用人数	男性				~	18 人	21 人	20	7	19 人	761	781 18 人	十 61	ر 19 J	717	平均	19.42 人
	女性	25 人			\prec		48 人	49	7		48 A	子 48 イ	47 人	47			49.25 人
1人あたり平均利用日数	利用日数	10.30 ⊟	10.35 B	10.78	_	11.34 ⊟	10.41 B	10.22	H 10.65	.65 B	10.90 E	H 11.11	10.55 B	10.42 ⊟	∃ 10.69 ⊟		10.64 ⊟
	月曜日			ļ			27.25 人		λ 26.25	'	25.00	人 27.60 人		Ι΄	25.00	L.	26.56 人
品田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田	火曜日	28.80 人	27.00 人	28.25	\prec	26.40 人	26.75 人	25.00	人 26-20	20 人	28.00 J	、 25.50 人	24-25 人	24.50	人 28.00 人	平均	26.55 人
A 로 로	水曜日	27.00 人	26.60 人	30.25	\prec	28.20 人	28:00 人	28.50	λ 28.	28:20 人	28.50 J	人 27.75 人	25.75 人	25.25	人 25.75 人	平均	27.48 人
₹ *	木曜日	76.50 人	24.20 人	24.50	\prec	26.00 人	24.25 人	23.75	人 24-20	20 人	23.50	7 24.75 人	22.20 人	23.25	(23.25 J	计达	24.20 人
(五)	金曜日	24.25 人	25.00 人	27.25	7	26.50 人	2420 人	24.00	/ 25	25.50 人	25.20 J	し 2525 人	24.00 人	23.25	人 25.25 人	中均	24.97 人
(国国)	土曜日	21.75 人	19.00 丫	20.00	- ≺	19.25 人	18.80 人	16.50	۲ 19	19.66 人	20.80 J	く 20:00 人	20.00 人	24.60	ረ 23.00 /	中内	20.28 人
	日霽日	19.00 人	17.00 人	19.40	-	17.50 人	19.50 人	2020	7 19	19.00 人	20.00	く 20.40 人	18.25 人	19.25	人 21.00 人	中内	19.21 人
	要支援①	イ -	1 \	-	\prec	一	1 \	_	7	∀	1	イ・・・・	2 人	2	へ - -	中内	1.17 人
	要支援②	丫 0	丫。	0	~	子 0	丫。	0	7	子 0	٠ 0	子 0 ノ	丫 0	-	へ 0	平均	丫 80:0
	要介護1	19 人	20 人	18	\prec	15 人	15 人	17	7	17 人	13 A	人 13 人	14 人	11	イ 13 人	中村	15.42 人
要介護状態別	要介護2	21 人	20 人	. 20	\prec	21 人	21 人	20	7	21 人	Z3 J	7 24 人	22 人	21	7 23 Y	平均	21.42 人
利用者数	要介護3	20 人	十 61	18	≺	20 人	21 人	20	7	17 人	15 人	7 14 人	14 人	14	イ 91 つ	平均	17.33 人
	要介護4	十 01	子 6	10	\prec	子 6	8 人	6	7	10 人	12	12 人	12 人	12	人 15 人	平均	10.67 人
	要介護5	2 人	2 人	2	丫	2 人	3 人	2	7	3 丫	3 J	7 と 人	2 人	3	イ e	中均	2.42 人
		丫 0	丫 0	0	\prec	子 0	子。	0	7	子 0	0	子・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	丫 0	2	へ 0 ノ	平均	0.17 人
※支援·申請中除く	1	2.38	2.33	2.38		2.43	2.46	2.40	2	2.43	2.53	2.48	2.47	2.59	2.60	中内	2.45
	~64歳	1 人	1 人	-	\prec	≺ -	~ 1	-	7	≺ -	1	イー・ノ	一	-	イー	平均	1.00 人
	65~74歳	2 人	2 人	2	\prec	7~	3 Y	_د	ر	4	4	イ *	→	4	★	计芯	3.17 人
五田米	75~79歳	子 ==	11 人	=	\prec	10 人	10 人	01	7	10 人	10 1	イロン	一	=	イ 81 ノ	计芯	10.67 人
4.3717日	80~84融	12 人	13 人	13	\prec	13 人	12 人	13	7	14 人	۲ 1	イニン	十 01	101	へ 01	计芯	11.83 人
*/#LIB-	85~89歳	25 人	23 人	. 22	\prec	22 人	23 人	21	ر	21 人	21 Y	7 7	22 人	22	人 24 人	平均	22.25 人
	90~94歳	17 人	15 人	13	~	12 人	13 人	41	7	12 人	_ 	イニン	11	10	イ 01	平均	12.42 人
	95歳~	2 丫	子 9	_	\prec	∀	7 人	7	7	7 7	√ 8	イ 8 ノ	7 Y	88	へ 6	十九	7.25 人
	上川田	Y /	7 人		~	子 9	7 Y	8	7	子 8	ر 7	7 /	<u> </u>	7	<u> </u>	計	子 80.7
	下村町	子 二	13 人	= !	۲.	13 丫	12 人	12	~ .	12 人	= .	イ ニ ノ	子 · 01 ·	0 :	12 7	十 H 전 :	11.50 人
居住地別	久保町	Υ ·	子· 6	2	۲.	Y ·	Y 0.1	01	7.	イ· 8	б	イ・ 。 ノ	7 OI	01	2 01	Y 計	子 /9.6
利田者数	虹ケ丘町	子 6	Y · ∞ ·		۲.	7、人	12 人	8	4 .	∞ ·	∞ ·	イ。	≺ × ·	6	イ。 6) 1 1 1 1 1	8.42 人
1	19 基町	4 Y	4 Y	4	7	4 Y	23 人	4	7	4 \	4	/ 4 人	4	4	4	# K	7.58 人
	大黒田町	2 人	2 人	2	7	5 ~	13 人	2	<u></u>	7	2	7 ~ ~	٠ ٢	8	33	지 당 :	3.17 人
	その他	29 人	28 人	78	~	7 ₉ 2	7 7	25	7	27 Y	25 7	く 25 人	24 Y	23	Z6 A	計	24.42 人
	協和苑	4	43 人	41	~	42 人	43 人	43	7	4	42	40 イ	41 Y	39	√ 42 √	计位	41.92 人
	社協(支所含)		3 子 E	8	~	3 子 8	3 子 E	ဇ	7	3 子 8	2 7	7 ~	2 人	2	イ る フ	出格	2.75 人
旧花田	医師会		5 人	4	~	2 丫	4 Y	4	_	4 ≻	4 \	4 ~	4 Y	4	7 4	中拉	4.17 人
4	JA関係	***************************************	7 Y		~	2 丫	子 9	9	7	5 人	2 2	7 ~ 5 人	5 Y	5	7	中均	5.92 人
	桜木記念病院		子 o	0	\prec	子 0	イ o	0	7	イ 0	۲ 0	子 0 ノ	子 0	0	へ 0 ノ	平均	子 00.0
	綠風苑		子。	0	\prec	子 0	子 0	0	Z	イ 。	۲ 0	子 0	子 0	0	へ 0 ノ	平均	子 00.0
	その他	13 人	13 人	4	~	13 丫	13 人	13	7	13 人	14	15 人	14 \	16	7 91	十七万	13.92 人

令和元年度(2019年度) 短期入所生活介護事業所協和苑 年間状況報告

営業日数 全体 利用日数 男性	Ц		5	L	ı	ш	2								
日数	-	Ī					2	 	30	3	3	29	31	加	366 E
日数		Ш			901 田		862	857	835	988	878	808	894	中計	10,455 E
***************************************	L	П	295 日	3	1	3	323	291	282	306	284	253	309	合計	3,489 E
		Ш	日 609	583 日	605 日	1	_	ļ	L.	ļ	_	L.	585	中計	996'9
日平均利用者数	Ш	\prec	29.16 人	28.67 人		29.23 人	28.73	27.65	27.83	28.58	28.32	27.86	、28.84 人	計 전:	28.57
塚働率 "	96	%-	- 1	95.56 %	- 1-	- 1	95.1	92.15	92.78	95.2	94.41	92.87	96.13	* it 전 f	95.22 9
*			1.5	子 60	- 2	- 3	03 人	- 3		Y − 0+) 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	∀ 10 +	Y 00 Y	# # 22	01.92
之五人数 1	カゴエ 74 か性 43	۰ ۲ ۲ ۲	イ 77 42 Y	イ 02 30 30 30 30 30 30 30 30 30 30 30 30 30	人 V2 A7 人	7 7 Y 7 T T	22 人 41 人	7 7 7	く 61 7 V	人 67	10 A		人 47	 - 전 조	41.75
。 5たり平均利用 5	12	< _□	-	14.58 日	13.45 日	14.38 日	13.68 日	14.28	4	14.	14.8	13.	14.9	} } 込 る	14.09
H		~					1	28.75	28.25	29.20	29.50	29.25	29.40	平均	28.99
三	8 R	\prec	1	28.75 人	30.00 人	子 00:08	28.50 人	7.80 人	、 29.00 人	28.80 人	, 28.75 人	、 27.25 人	、28.60 人	中乙	28.85
; ¥		\prec	6.00 人	28.00 人	28.80 人	29.75 人	28.50 人	27.40 人	、 28.25 人	29.50 人	、 28.40 人	、 27.00 人	、28.00 人	平达	28.45
利用者数	- 2	≺-	3.60 2.60 3.60	28.25 人	28.50 人	28.40 人	28.25 人	27.00	7 27.50 人	. 28.25 人	、 27.80 人	28.00 人	、28.75 人) 라 라	28.17
	5	< -	8.20 A	マックラン A 29.00 A 29.0	28.00 A	人 06.82 79.20 人	28.00 人	7 00.72	人 28.80 人	7 26.50 79.00	28.50	20.73 X	28.75 人	+ H 진 초	28.79
	曜日 29.75	</th <th>30.00</th> <th>29:00 人</th> <th>29.50 人</th> <th>29.00 人</th> <th>29.20 人</th> <th>29.25 A</th> <th>27.25 人</th> <th>人 28:60 人</th> <th>人 29:00 人</th> <th>29.50 人</th> <th>28.80 人</th> <th> - </th> <th>29.07</th>	30.00	29:00 人	29.50 人	29.00 人	29.20 人	29.25 A	27.25 人	人 28:60 人	人 29:00 人	29.50 人	28.80 人	- 	29.07
H	1 3	\prec	3.25 人	26.00 人	26.00 人	26.75 人	25.60 人	25.25 人	、 25.00 人	25.60 人	, 24.00 人	、24.00 人	、25.20 人	中	25.47
習	8 8	\prec	3.00 人	25.75 人	25.40 人	26.75 人	25.00 人	24.40 人	、 25.00 人	. 26.00 人	、 26.25 人	. 23.25 人	、24.60 人	中乙	25.35
. t	- 3	\prec	8.20 人	26.50 人	25.60 人	27.00 人	25.75 人	24.20 人	く 25.25 人	26.75 人	、 26.20 人	. 25.00 人	、25.25 人	十 乙	25.87
利用者数	(曜日 24.25 (曜日 24.00	≺-	25.40 人	24.50 人	24.75 人	25.20 人	24.75 人	23.60 A	7 24.50 人	. 23.75 人	24.00 人	24.25 人	、25.75 人	計 私 ₹	24.56
	- 1	<-	3.25 L	24:00 A	25.00 A	24.20 人 24.80 人	24.00 A	7 00 76	√ 23.40 √	24.50	24.25	25.00	75.73 人	- - - -	24 90
	- 1	⟨ ≺	25.25 人	23.80 人	24.25 人	24.25 人	24.40 人	24.50 人	23.00 人	23.80 人	25.50 人	24.50 人	24.40 人	中	24.35
一	支援(1) 0	≺	子 0	子 0	子 0	~0	子 0	~ 0	イ o	子 0	子 0	子 0	子 0	中乙	00:00
一一		\prec	子 0	子 0	子 0	子。	子 0	子 0	イ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	子 0	子・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	子 0	子 0	平迈	0.17
· ·		Y	子 6	10 人	子 6	5 人	子 9	4 A	7 4 人	3 人。	7 2 ~	7 人	~ 5 人	平均	6.25
要介護状態別要		≺-	12 人	13 人	20 Y	16 人	18 7	17 \	13 人	12 人	Y - 20	イ- 6 ;	, 12 个	計 包 石	13.67
· 数 图		< -	く 67	イ・52	マ c5	7 - 7	7 77	<	く 70 ~	人 77	Y 07	≺ - 8 0	≺ - ∞ ç	+ 5 5	11.22
K III	小霞4 14 个罐5 2	< ≺	√ ≺ s ε:	√ Y 20 °	ა 	۲ × ۲ ×	→		\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	, 2 'S	√ × × × × × × × × × × × × × × × × × × ×	Y Y €	\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	 1	383
(#	-	(\	1 \ \	~ 0	(人)	Y o	Y o) -	() ()	子 -	3 7	 4 人 人	2 ~	中态	1.00.1
#請中除〈平均	要介護度 2.85		2.76	2.71	2.78	2.92	2.83	3:00	3.09	3.17	3.07	3.05	3.09	平均	2.94
1		 ≺	~ 0	1 十	~ 0	2 人	1 1	<u>۱</u>	子 0	~ 0	个 0	个 0	子 0	中均	0.42
65	-	~	7 人	子 8	丫 6	11 人	子 6	Y 8	子 6 フ	丫 6	丫 9 ~	. 7人	子 6	平均	8.50
利用者 75.	~79歳8	≺-	一 二 :	≺ - ∞ ;	イ- 6;	子 - 9 ,	≺ - ∞ ;	22;	2 ?	· · ·	、 5 5	子 - 9 ;	ر د ب	計 配 程	6.75
42	80~84限 1/822 18	< -	\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	Υ -	十 1 1 1 1 1 1	7 7	12 人	Y 4 4 4 7 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4	7 7 7	/ n = 10 = 10 = 10 = 10 = 10 = 10 = 10 =	Y 01 Y	701 ~))。)	# H 조 조	18.00
06		<u> </u>	< - 6	~ ~ ~	12 人	10	11			13 \	15 \	11 人	Y 01	442	10.75
36	5歳~ 5		5 人	4 人 4	2 人	4 人	5 人	2 \	7 4 人	子 9	2 人	7 2 ~	子 9	平迈	4.67
		≺	4 人 人	3 子 8	4 人	3 人	3 \	4	人 4 人	→ 4	→ 4	、 4 人		計	3.75
۲.		~	3 丫	2 人	2 人	3 人	2 人	٠ ٢	3 人	· 3 人	3 人	3 人	3 人	十 乙	2.67
		~	2.	子。	7 人	⊗ ∘	≺ - ∞ ·	Υ ·	イ · 9 i	Y。 。	→ → →	, 4 人	۲- ۲-	## 전:4	6.17
利用者数 福		≺ -	つ く -	- ≻	ر د د	- ه ه	4 ° ≺ -	√ -	7 - 6	→ °	Y - ママ	~ 7 ~	۲ - ۲ -	## F	3.83
	1 日田田	< ≺	< + «	< γ °	√ · ·	γ	<	2 -	<	< ~ ° °	\	<	< - ✓ ✓	 	208
	4	(≺	40 人	36 入 36	45 入	39 入	42 人	37 人	√ 40 √	39 人	人 40 人	41 🗡	39 人	平均	40.17
斑		 	14 人	14 人	14 人	15 人	13 人	12 人	一十一	11 \	子 6	丫 6	子 6	中	12.17
社協(~	5 人	5 人	5 人	4 →	5 人	5 人	子 9	子 9 .	人 9 ,	. 4 √	3 人	十 乙	5.08
	000000000000000000000000000000000000000	≺ -	2 ~	4 十 -	一;	2 人	2 人	Υ ···	イ· イ·	∀	, - ·	→	→	計 配	1.75
五百五数 三二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二		≺ -	~ ~	2,	10 个	7 Y	5 人	4,	イ b '	7 - 7	→ → →	、 2	≺ - ∞ °	# 1 12	5.83
	緑風苑 2	≺-	2 ~	∀ - ∨	一 -	2 人	2 人	\ - °	イ - ⁻	2 人	, 2 \	, 2 \	~ 2 7	## 전 찬	1.67
光		~				•									

令和元年度(2019年度) 特別養護老人ホーム愛生苑 年間状況報告

日掛/日見		48	- L	III 4	18	α	ш б	10 🗎	=======================================	19日		98		今計·亚内	五
I	***	١.		ے	-	-	-		١	, ,	-	, ,	ے ا	I A	1 01
+ +	£ ‡ H B				< -	< -	< - - ⋅	< -	く -	く・	く - - '	くっ	۲ - ۲ -	<u>.</u> .	く - 2
新規人 宛有	男性	个 0	く 0		く 0	子 0	≺ -	子 0	子 0	く 0	∀ -	≺ -	く 0	다	3 个
	女性	1	2 人		1 十	1 人	~0	1 十	~0	~ 0	~ ~	1 十	一个 0	수타	7 人
	田	≺ -	イー		子 0	Υ ο	子 0	≺。	子 0	子。	一	子。	一个 0	和	3 人
入苑前	介護施設	子 0	- 1		Ƴ 0	一	≺ -	一	丫 0	Ƴ 0	~~	2 人	子 0	和	子 9
生活状況	病院	子 0	子 o	个 0	子 0	个 0	子 0	个 0	子 0	个 0	~~	Ƴ 0	子 0	마라	~ 0
	その他	子 0	丫 0	丫 0	1 人	丫 0	丫 0	丫 0	子 0	丫 0	~0	イ 0	子 0	마라	1 人
	全体	7 7	一十	一	イ -	子。	~-	一	丫 0	子 0	2 人	一		中	10 人
退苑者	男性	7 ~	丫 0	Ƴ 0	子 0	子 0	丫 0	- -	丫 0	子 0	-	子 0	子 0	마다	4 Y
	女性	丫0	1 人	3		个 0	1	丫 0	子 0	个 0	1 \	1 人		무	子9
	死亡	: ≺ -		-	子0	∀ 0	-		子0		1 −	子0		· · · · ·	2 丫
+ + +	長期入院	∀ -	1	子。	1 −		丫 0	丫 0		子 0	イ	1	丫 0	中計	5 人
退犯事田	施設異動	子 0	丫 0	丫 0		丫 0	Ƴ 0		丫 0	个 0	丫 0	3 .		마라	丫 0
	自宅復帰	子 0	Ƴ 0	子。	子 0	≺。	个 0		丫 0	子 0		≺。	丫 0	마다	丫 0
営業日数		30 日	31 🗏	30 日	31 日	31 日	30 日	31 🖪	30 日	31 🗏		29 日	31 B	和	366 ⊞
久員日数		10 日			1	4	19 日		0	0	29 日	1	0	和	129 日
外泊·入院日数	1数	15 日	9		33 ⊞	0	0	0	-	22 日	18 18	14 日	0	中	118 日
入苑者延日	数	1.175 日	1.208 日			1.236 日	1.181 日		1.199 田			1.134 日		和	14.393 日
1日平均利用者数	3者数		38.97 日	39.63 ⊞	38.39 日	39.87 田	39.37 日	39.68 ⊞	39.97 日	39.29 日	38.48 日	39.10 日	40.00 日	和	39.33 日
稼働率														和	98.31 %
	要介護1	子 0	了 0	子 0	子 0	子 0	子 0		子 0	子 0	子 0	子 0	子 0	H 石	子 00:0
	要介護2	≺。	子。	子。	子 0	子。	≺。		子 0	子 0	子 0	子 0	子 0	平均	子 00:0
要介護状態別	要介護3	12 人	12 人	12 人	12 人	12 人	12 人	10 人	10 人	10 人	10 人	子 6	~8	平均	10.75 人
利用者数	要介護4	19 人	19 人	19 人	20 人	21 人	22 人	23 人	22 人	21 人	22 人	22 人	21 人	平均	20.92 人
	要介護5	10 人	十 01	~ 6	∀ 8	7 人		1	イ 8	十 6	子 6		- 11 - 11	计达	8.83 人
	中計中	个 0	个 0	子 0	丫 0	个 0	个 0	子 0	丫 0	子 0	~ 0	子 0	个 0	计达	个 00:0
※支援·申請中除<	片	3.95	3.95	3.93	3.90	3.88	3.88		3.95	3.98	3.98	4.02	4.08	市	3.95
	第4段階	1 1	12 人	'8	12 人	1 1	11 人	10 人	丫 6	一 6	10 人	10 人	10 人		
在中的路可入	第3段階	19 人	18 人	17 人	16 人	17 人	18 人	19 人	19 人	19 人	19 人	20 人	19 人		
其世校旧戶刀	第2段階	11	11 人	11 人	12 人	12 人	12 人	12 人	12 人	12 人	12 人	十 十	11 人		
	第1段階	~ ~	~ 0	~ 0	~ 0	~ 0	~ 0	~ 0	丫 0	~ 0	~ ~	~ 0	~ 0		
	~64歳	~	子 0	子 0	~ 0	子 0	~。	~ 。	子 0	子 0	子 0	~ ~	子 0		
	65~74歳	-	- 人	- 1	→	1 人	- - -	- - -	一	- -	1 十	- 一	→		
7 指 4	75~79歳	۲ «	3 人	- 1	3 7	3 分 8	2 人	2 人	2 人	2 人	2 人	2 人	2 人		
イがらる	80~84歳	2 人	3 人	3 人	3 7 8	3 人 8	4 人	4 人	4 人	4 人 4	4 →	5 人	2 ~		
十四十二十二次	85~89歳	10 人	10 人	9	子 6	8	~ 8	子 6	7 人	一 /	~8	~8	≺ 8		
	90~94歳	14 人	13 人	13 人		14 人	15 人	1	16 人	16 人	16 人	16 人	15 人		
	95歳~	11							10 人	10 丫	10 人	子 6	一 6		
最年少	令	66 歳	66 歳	66 歳	66 歳	66 歳	66 歳	66 歳	66 歳	66 歳	66 歳	67 歳	67 歳		
最年	承	102 歳	102 歳							103 歳	103 歳	103 歳	103 歳		
	~11ヶ月	二 十 二	11 人		13 人	12 人	10 人	۱ 8	10 人	~ 8	子 6	10 人	一 6		
	12~35ヶ月	12 人	13 人	12 人	二 十	12 人	13 人	13 人	13 人	15 人	14 人	14 人	15 人		
1 # #188	36~47ヶ月	3 \	2 人		3 丫	4 人	2 丫	5 人	5 人	2 丫	4 人	3 子 8	2 人		
人犯别則	48~59ヶ月	13 人	13 人	12 人	12 人	12 人	12 人	12 人	12 人	12 人	12 人	13 人	14 人		
	60~71ヶ月	个 0	个 0	1	子 0	子 0	~ 0	个 0	丫 0	一个 0	一个 0	子 0	十 0		
	72~83ヶ月	个 0	个 0	个 0	子 0	个 0	~ 0	个 0	丫 0	个 0	子 0	个 0	~ 0		
平均入苑期間	も期間	29 ヶ月	28 ヶ月	29 ₇ H	29 ヶ月	29 ₇ H	30 ヶ月	30 ヶ月	31 ヶ月	32 ヶ月	33 ヶ月	32 ヶ月	33 ヶ月		

				令和元年度	度(2019年	度) 居宅	介護支援될	事業所協利	和苑 年間]状況報告						
/目断		4月	5月	一 任9	7月	8月		10月	11月	12月		2月	3月	4	計·平均	
	汉		中 0	中 0				中 0	中 0	中 0	中 0	中 0	中 0	合計	4	子 5
介護予防	要支援1	4 件	4 件	5 年	4 件	4 件	4 件	4 件	3 体	3 年	3 年		8	哈評	76	子 。
ケアマネジ・メント	ĮΝ	1 件	2 件	2 件		3		2 件	2 件	3 件	3 年		3 体	哈計	26	子 。
	抽	5 件	6 件	7件		8		6 件	5 件	9 世	9 世		8	哈計	71	≺
	要支援1		3 #	3 年				2 件	2 件	2 件	3 年			合計	2.	~ _
介護予防支援	要支援2	3 -	4件	4 年				4 件	4件	4 件	4 年			合計	48	子
	 	8 年	7件	7件	5 件			9 件	6 件	9 世	7件			哈計	75	子
	忶	١.		❤				20 件	19 件	19 件	20 件			合計	25(~
	要介護2	23 件	22 件	22 件	24 件	27 件	27 件	27 件	30 体	31 件	31 件	32 件	33 体	哈評	329	
十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二	尓	1		*				17 件	16 件	15 件	14 件			哈計	200	3 六 8
古七 개 護又抜	⇤	3 '		16 件	14 件			11 年	13 件	12 件	12 件			合計	150	
	尓	ķ -		5 年	R			8	7件	9 世	9 世			哈計	79	∀
	Dille	88 体	85 件	81 件	81 件			82 件	85 件	83 件	83 件			哈計	1002	2 人
訪問調	調査	世	#	世	世	世	#	世	世	世	世	世	世	마		子 (

	4月	5月	6月	7月	8月	16	10月	11月	12月	1月	2月	3月	ŲΠ	計·平均
	1,155	1,207 食			ľ		l.		1,216 食	ľ	1,132	1,239 食	合計	14,315 食
朝食検食		31 食	30 食		31 食	30 食			31 食		. 59	31 食	中計	366 食
その他	御	包	御	包		包	包	御	包	剣	Ì		合計	0 食
抽		1,238 食	1,174 食	1,219 食	1	1,209 食	1,260 食		1,247 食	1,223 食	1,161	1,270 食	合計	14,681 食
利用者	1,139	1,177 食	1,111 食	1,155 食	1,205 食	1,150 食	1,196 食	}	1,184 食	1	1,104	1	合計	13,950 食
体検食	30	8	1	31 食	1	30 食	31 食	30 食	31 食	31 食	29	31 食	合計	1
學 財員食	30	23 食	29 食		29 食						27	_	合計	343 食
その街		3	3	闵	1	闵	包		闵	ľ		包	合計	0 食
盂	1,199	1,231 食	1,170 食	1,212 食		1,210 食	1,261 食	1,223 食		1,210 食	1,160		合計	14,659 食
	1,155	1,208 食			1						1,134		合計	14,309 食
夕食 検食	30	31 食			31 食		Ĺ		31 食		. 59	31 食	合計	366 食
その街		包	包	包	包	包	包	包	包	闵		包	哈計	0 0
+	1,185	1,239 食	1,171 食	1,220 食	1,267 食	1,210 食	1,260 食	1,228 食	1,246 食	1,216 食	1,163	1,270 食	合計	14,675 食
利用者	747	728 食	740 食	766 食	711 食	695 食	731 食	724 食	729 食	692 食	. 685	753 食	合計	8,701 食
8		包	包	包	包	包	包	包	负	负		包	合計	0 魚
š		食	食	食	包	包	包	食	食	负		包	合計	0 0
その他		包	包	包	包	包	包	倒	剣	剣		包	合計	0 食
	747	728 食	1	766 食	711 食	695 食	731 食	724 食	729 食	692 食	685	753 食	合計	8,701 食
おやつ	729					684 食			711 食	677 食	672	730 食	中計	
夕弁当	145										86		合計	
利用者	756			` '	·						694	7	中計	
	30	8	8		_	8		8	_		29	31 食	合計	366 角
		倒	倒	食	包	包	包	ө	倒	倒		包	中計	0)
その他					每		包						中計	0 食
 	786										723		中計	1
利用者	852										795		中計	
	30		-	_	_				_	_	. 59	31 食	中計	366 魚
		食)	食	每	食	食)	食	食		御	合計	0 億
				包					倒				合計	
	882			١	Ŀ		1			Ľ	824		合計	10,660 食
利用者	762	Ĭ	Ĭ.	١	Ŀ	1			8		669		合計	9,105 食
i	30		1	31 食	_				31 食	Ĺ	. 29	31 食	合計	366 食
		食	包	魚	包	包	包	包	包	寅		飮	合計	0 食
その色					1						•		心計	
1					1					1	728		中計	1
おやし				١	1	848 食			876 食		798		哈計	
夕弁当	4 食			Ι.,	1	4 食	4 食		7 食	1	က	2 食	合計	1
the state of the s		計画を表します。 計画を開きませる 一計 日本 一 日本	大の他	村用者 1,199 食 1,231 食 村用者 1,155 食 1,208 食 有食 30 食 31 食 その他 1,185 食 1,239 食 おおお 1,185 食 1,123 食 おおお 1,123 食 <t< td=""><td>十月</td><td>日本の他 (本) 日本の他 (本) 日本の (本) 日本の (本)</td><td>本の他 (本) 日本の (本) 日本の (本)</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td> 1199</td></t<>	十月	日本の他 (本) 日本の他 (本) 日本の (本) 日本の (本)	本の他 (本) 日本の (本) 日本の (本)							1199

令和元年度 在宅複合型施設 協和苑 事業報告書

I.在宅複合型施設協和苑全体

1.一年間の動き(地域包括ケア下の協和苑)

平成 30 年度より地域包括ケアシステムにおける新総合事業が本格始動しましたが、松阪市では、その裾野は広がりをみせません。特に民間の"互助"を活用した高齢者支援サービスの動きが少なく、介護保険サービスである"共助"の淵から抜け出すことができません。自助や互助は介護保険制度から切り離した新しい高齢者ニーズの受け皿であり、増大する生活ニーズや、社会保障費抑制のための重要な要素になるため、地域包括ケアシステムの大きな役割を果たすべきです。地域では、強いリーダーシップやコーディネートが機能しておらず、行政が積極的に情報発信や民間活力の掘り起こしを進める必要があります。令和元年度、協和苑では、近隣2法人と協同し地域医療介護総合確保基金を活用し「生活支援サービス掘り起し事業(仮)」を計画し、令和2年度より実施していく予定です。

一方、"共助"である介護保険サービスでは、介護予防サービスと介護サービスの分化が進んでおり、協和苑では介護予防サービス対象者の利用が減少しています。介護現場では重介護業務が増加していますが、要介護度の高い利用者も増加傾向にある中、介護予防利用者の減少により、要介護者の密度が高くなっていることも要因と考えられ、サービスの内容にも徐々に変化の必要性が求められています。

[要支援者・要介護者の協和苑利用割合]

事 業	区分	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
通所介護	要支援①②※2	4.85%	3.58%	2.32%	1.36%	0.61%
	要介護 1~2	53.85%	55.63%	56.84%	48.95%	47.25%
※1	要介護 3~5	41.30%	40.79%	40.84%	49.69%	52.14%
短期入所	要支援①②※2	1.39%	1.54%	0.80%	0.25%	0.11%
^{投納人別} 生活介護	要介護 1~2	27.45%	23.34%	23.49%	23.54%	23.51%
土泊月葭	要介護 3~5	71.16%	75.12%	75.71%	76.21%	76.38%

^{%1} 介護予防通所介護を含む (平成 30 年度からは第 1 号通所事業)

居宅介護支援事業においても、平成 29 年度のみなし総合事業、平成 30 年度の新総合事業の本格始動により、介護予防支援等のケアマネジメントニーズが顕著に増加している一方、病院機能の再編により療養患者の在宅医療への転嫁が進み要介護度の高い方のケアマネジメントも増加している状況です。

[居宅介護支援事業ケアマネジメント別割合]

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
要支援①②・事業対象者	8.14%	10.67%	12.72%	12.98%	12.72%
要介護 1~2	55.81%	57.33%	56.07%	50.22%	50.43%
要介護 3~5	36.05%	32.00%	31.21%	36.80%	36.85%

このように、地域包括ケアシステムを中心にした介護と医療の変革の中、在宅サービスは間違いなく重度化の傾向を辿っています。消費税増税により先送となりましたが、政府は、通所介護事業の要介護 1、2の利用者を市町村事業(総合事業)に移行していく方向性をもって進めており、介護サービスは重度者が利用し、軽度者は介護予防サービスや新総合事業を利用する流れが加速することが予測されます。

また、重度者を受け入れるにあたり、内外事業所間の情報共有や連携が必要になることから、松阪市が推奨するカナミックネットワーク(すずの輪)への参画を進めるとともに、地域連携と情報交換を目的に、地域ケアネット、松阪地域精神保健福祉連絡会、地域ケア会議(各包括圏域)へ積極的に参加しました。また、第1回協和苑プロジェクト会議では、事業所間連携や情報交換の方法について検討する取り組みも実施しました。

^{※2} 平成 30 年度からの事業対象者(要支援以外)も含む

2.実施事業の状況

(1) 協和苑全体

介護保サービス・介護予防サービス	令和元年度利用状況	詳細資料
通所介護事業(第1号通所型事業含)	1 日平均 24.22 人	%1
短期入所生活介護事業(介護予防含)	1 日平均 28.57 人	%1
居宅介護支援事業(介護予防ケアマネジメント含)	月平均 95.66 件	%1
高齢者支援委託事業		
①松阪市生活管理指導短期宿泊運営事業	年間件数 0 件	
②松阪市高齢者外出支援サービス	年間件数 0 件	
③住宅改修支援事業	年間件数 0 件	

^{※1「}年間状況報告」資料参照

(2) 通所介護事業(第1号通所型事業含)

項 目	H29 年度	H30 年度	令和元年	対前年比率		
1 日平均利用者数	22.92 人	26.42 人	24.22 人	前年比 91.67%		
月平均利用者数	78.25 人	82.67 人	68.67 人	前年比 83.07%		
1 人あたりの月平均利用日数	8.86 日	9.66 日	10.67 日	前年比 110.46%		
介護保険事業収入	81,189 千円	92,237 千円	86,118 千円	前年比 93.37%		

①利用者の重度化による影響

利用者数は減少しましたが、昨年同様 1 人あたりの月平均利用日数が増加しています。利用者の重度化に伴い、介護サービスの必要性が増すことや限度単位数が増えていることが要因として挙げられます。

このように通所介護事業では利用者が重度化傾向にある中、既存のサービス内容にも変化を加える必要も生じてきました。介護予防の目的の高いパワーリハビリ機器使用の対象者が減少したため機器を撤去し、レクリエーションや日常動作に重点をおいたリハビリテーションの充実へと切り替えるとともに、要介護度の高い方のために、休息場所(ベッドスペース)を増設(改修・ベッド購入)することになりました。

また、部会(会議)内学習会では、利用者の重度化に伴う介護援助技術や関連疾患を取り入れ、職員の情報共有と基礎知識の醸成に努めました。

②職場環境改善(時間外勤務の削減)

サービス提供時間が 7~8 時間 (7 時間 15 分) の為、慢性的な時間外勤務が発生しています。 職員の就労環境改善に取り組むべく、早番制を導入するとともに、令和 2 年度 4 月よりサービス 提供時間短縮 (7 時間 5 分) に向けて検討し実施することになりました。

(3) 短期入所生活介護事業(介護予防含)

項 目	H29 年度	H30 年度	令和元年	対前年比率		
1日平均利用者数	28.48 人	28.67 人	28.57 人	前年比 99.65%		
月平均利用者数	64.75 人	64.00 人	61.75 人	前年比 96.48%		
1 人あたりの月平均利用日数	13.38 日	13.62 日	14.07 日	前年比 103.30%		
介護保険事業収入	114,272 千円	113,887 千円	114,587 千円	前年比 100.61%		

①止まないニーズと今後の展望

利用者数はほぼ上限に達しており、利用を断るケースもあり二ーズの高さが伺えます。通所介護 事業ほどではないにしろ利用者の重度化により、1人あたりの利用日数も長くなってきているため 新規利用者を受入られず、月平均利用者数は減少傾向にあります。

近年、退院後の在宅サービスの調整を行う間の受け皿としてのニーズが高くなっており、ケアマネージャーはもとより、医師からのニーズも聞くことが出来ます。今年度も増床計画について検討も行ってきましたが、来年、近隣に短期入所生活介護事業所が開設することもあり、協和苑への影響、松阪市内の充足状況等を踏まえ再検討する必要があります。

社会ニーズの変化にもよりますが、結果的に看取りを行った利用者は4名となり、在宅での終末

を迎える傾向が強くなっていることや、利用者車椅子利用者増(車椅子不足)、転倒・転落インシデント増(ベッド柵不足・センサーマット不足)、発赤・床ずれ利用者増(低反発クッション不足)への対応の為、消耗備品の購入も増えていることから、重度化の影響を窺い知ることが出来ます。

②業務効率化・簡素化(職場環境改善と経営改善の側面から)

協和苑の短期入所生活介護事業は床数(奇数)、設備(2・3 Fに分離、多床室)の面から経営効率が悪く、収支黒字を達成するためには、高稼働率を維持しながらも限られた人員で生産性を上げていく必要があります。そのためにも、以前からの複雑化したルール等による過剰な業務の仕訳を進め、業務量の削減を図るとともに、時間外勤務の是正や職員個々の処理能力による格差を平準化させることも必要であります。その一つとして、分散され複数転記が必要な日々の記録の集約化と情報共有の簡素化・効率化を進めました。年明けには三重県介護従事者確保事業費補助金事業において、ICT機器導入についても補助対象となったため、更なる簡素化・効率化を図るためタブレットによる記録システムの導入に踏み切りました。

また、通所介護と同様、多くの職員は仕事に対する意識が高いため、就労時間前に当日の段取りや準備を行うことが多く、早番制を導入し就労環境改善を図りました。

(4) 居宅介護支援(介護予防ケアマネジメント含)

項目	H29 年度	H30 年度	令和元年	対前年比率
介護予防マネジメント(年間)	36 件	62 件	71 件	前年比 114.52%
介護予防支援(年間)	96 件	84 件	75 件	前年比 89.29%
居宅介護支援(年間)	906 件	979 件	1,002 件	前年比 102.35%
介護保険事業収入	11,113 千円	12,484 千円	12,908 千円	前年比 103.40%

①地域包括ケアの影響下にある事業

介護予防マネジメントの依頼件数が増える要因には、予防介護の必要性が高齢者に浸透しつつあると言えます。また、今まで介護予防支援であった要支援者が費用負担の少ない介護予防マネジメントへ転換している可能性もあります。

一方、居宅介護支援については若干の増加はあるものの、協和苑の居宅介護支援事業の受け入れ可能件数の80%程度となっており、依頼件数を上げていく必要があります。件数を上げていくために個々のマネジメント能力の向上とともに、世間からの認知度や関係機関からの信頼度を上げていくため、地域の関係機関や団体とのかかわりを密にしていく必要があります。今年度は地域ケアネット(第一地域包括支援センター)、カナミックネットワーク"すずの輪"(松阪市地域連携室)、地域ケア会議等への参画を始め、地域の情勢や課題を地域とともに考えていく機会を多く持ちました。

②これからの居宅介護支援事業の在り方

地域包括ケアシステムが推進されていますが、社会基盤の整備は遅れています。画一的なケアマネジメントでは対応しきれない困難事例もあると思います。冒頭の"互助"を活用し、ケアマネジメントの隙間を支援する仕組み作りを進めるためにも、居宅介護支援事業所が情報発信をし、助け合いの地域作りを進めなければなりません。

4.その他施設運営全般

(1) 新しい協和苑形成の動き

業務の実施状況の把握その他の管理を一元的に行うため、各事業に管理者を配属していますが、管理者(理事長)が非常勤になったことに伴い、令和元年7月1日より通所介護事業及び短期入所生活介護事業に新たな管理者(施設長)を登用しました。

また、居宅介護支援事業については、管理者(所長)が定年退職となったため、後任の人事を行い、 通所介護事業から生活相談員(介護支援専門員)を異動させるとともに、居宅介護支援事業所内部から新たに管理者(所長)を登用しました。通所介護事業では若手職員を所長補佐、生活相談員とそれ ぞれ登用し、事業所内組織の強化を図りました。

(2) 経営状況・健全経営への取り組み

ここ数年、収入に対応する支出のバランスが保てるよう予算管理に取り組んできました。在宅サービスゆえに地域ニーズにより収入の変動はありますが、短期入所生活介護事業で稼働率 95%、通所介護事業で 60%を保つことを前提とした、人件費を含む必要経費の管理が重要です。

今年度決算では、人件費率は 72.4%となりました。令和元年度は、部署により人員不足の状態が 続いた時期もありますが、職員も充足しつつあり、来年度の人件費は 73.5%を想定しています。

人件費は、松阪市内他法人平均と比較し高くなっておりますが、決して経営状況は悪くありません。 経費削減も実現していることから、収益率は平均並みとなっており、収益を最大限、職員に分配していると言えます。

将来の設備投資・修繕や事業拡大、不測の事態(感染症・震災)に備えた預貯金の確保も必要であるため収益率は4~5%は確保していきたいところです。経費を抑えつつ、しっかりと職員に待遇していくには、適正な職員配置を意識し、生産性(職員一人当たりサービス活動収益)を上げていく必要があります。また、構造上収支バランスが悪い事業については、思い切った施策を進めていく必要もあります。

【経営指標】

Z-1						
	平成 29 年度		平成 30 年度		令和元年度	
	協和苑※1	他法人平均※2	協和苑	他法人平均	協和苑	他法人平均
収益率	▲ 6.2%	5.8%	1.9%	4.1%	4.4%	
人件費比率	80.8%	67.1%	76.0%	67.8%	72.4%	
経費比率	23.6%	22.7%	20.3%	24.3%	21.1%	
職員一人当たり サービス活動収益	370 万円	562 万円	475 万円	566 万円	485 万円	

^{※1} 法人本部+通所介護事業+短期入所生活介護事業+居宅介護支援事業(29年度は訪問介護含む)

(3) 行事・会議等開催及び各種団体行動報告

【法人内合同会議・協和苑内会議等】

会議等名	年間回数	会議等名	年間回数
法人本部会議	計 24 回	居宅介護支援事業部会議	計 12 回
職員全体会議	計4回	健康増進部会議	計4回
協和苑会議	計1回	リスクマネジメント委員会	計6回
通所介護事業部会議	計 12 回	総務委員会	計4回
短期入所生活介護事業部会議	計 12 回	衛生委員会	計1回

【協和茆加明団体活動】

「阿伯が出る」「中心到」			
団体名	主な活動		
松阪市介護サービス事業者等連絡協議会	正副会長会議	年3回	
	運営委員会	年5回	
	居宅部会	年2回	
	防災ネットワーク委員会	年2回	
	居宅部会研修会	年1回(11月)	
	防災研修会	年1回(10月)	
	ウェルカムフェア・就職相談会	年1回(2月)	
第一地域包括支援センター	運営委員会	年6回	
地域ケアネット	地域ケアネット	年6回	
みつばネットワーク	運営委員会	年1回	
三重県デイサービス協議会	総会	年1回	
	中南勢ブロック研修会	年3回	
RUNTOMO松阪 実行委員会	実行委員会	年2回	

^{※2} 市内の高齢者サービス事業を行う社会福祉法人

【協和苑共通内外行事等】

行事等名	実施日	詳細
徳和小学校見学・交流会(見学)	6月4日、7日	徳和小学校 3 年生 68 名×2 日
徳和小学校見学・交流会(交流)	6月10日~12日、14日	徳和小学校 3 年生 34 名×4 日
わくわくワーク	6月19日~21日	久保中学校3年生3名
松阪市小学校教諭福祉施設	7月23日、24日	徳和小学校教諭 2 名
1日ボランティア体験	7月29日、30日	松阪市第二小学校教諭1名
	7月29日、8月5日	港小学校小学校教諭 1 名
三重県人材センター職場体験事業	7月31日~8月1日	初任者研修受講者 1 名
小学校及び中学校教諭普通免許状授	8月5日~9日	皇学館大学 1 名
与に係る介護等体験(三重県社会福祉	8月19日~23日	三重大学1名
協議会)	8月19日~23日	皇学館大学 1 名
	9月9日~9月13日	皇学館大学 1 名
協和苑夏祭り	8月21日	(苑内行事)
松阪市健康フェスティバル	9月15日	(苑外行事)参加 1 名
消防総合訓練	9月25日	(苑内行事)
RUNTOMO in 三重 プレイベント	10月9日	(苑外行事)参加 1 名
RUNTOMO in 三重(松阪市ルート)	10月24日	(苑外行事)参加2名
協和苑文化祭	11月21日~27日	(苑内行事)
消防署立入検査	11月22日	(定期査察)
三重県人材センター職場体験事業	12月16日~17日	シニアチャレンジ受講者1名
消防総合訓練	3月31日	(苑内行事)

(4) 施設内各事業所及び部署の活動報告

- ① 『Ⅱ通所介護事業所活動報告』(デイサービス)
- ②『Ⅲ短期入所生活介護事業所活動報告』(ショートステイ)
- ③『IV居宅介護支援事業所活動報告』
- ④『V協和苑健康増進部活動報告』(給食部門)

※次項記載

Ⅱ.通所介護事業所(デイサービス)活動報告

【令和元年度 基本方針】

平均値のアップに向けて「利用者様の立場に立って満足していただける心のこもった介護の実践」 【**令和元年度 業務目標**】

- (1) 職員間のチームワームを図る
- (2) 個々のケアプランに沿ったサービスの実践
- (3) 事故防止に努め安全で快適なサービスを提供する
- (4) ゆとりの介護利用者様が笑顔で一日過ごせるようなレクリエーションを提供する

1.業務目標の振り返り

(1) 職員間のチームワームを図る

- ①連携ミスにより、転倒・転落事故がありました。ミーティングを行い再発防止策として、優先順位を考え対応することとしました。
- ②業務全体の流れは、新人職員には、把握しきれない部分もあり、声掛けで補い進めました。
- ③看護職員、介護職員の連携が、上手く出来ないことがあり、利用者様を待たせてしまうことがありました。

(2) 個々のケアプランに沿ったサービスの実践

- ①個人ファイルに、眼を通す機会を増やし、ケアプランを再認識して、利用者に接する事が出来きました。
- ②新人職員教育も含め、業務手順や個別サービス内容について統一を図って行く必要があります。
- ③機能訓練、機器の撤去に伴い、プランの変更が生じました。

(3) 事故防止に努め安全で快適なサービスを提供する

- ①利用者の表情は、気付く事が出来ており、安楽に過ごして頂けたと思います。
- ②必要な知識や技術は、勉強不足、経験不足がみられ、職員間で補い合いました。
- ③利用者に対する声掛け、接し方について、改めてほしいとの声があり、該当する職員には、注意 することがありました。
- ④介護事故は昨年度(27件)に比べ減少しましたが、転倒・転落事故が多くを占めており、注意を怠らないように努めたいと思います。

【事故種別】

. 5						
転倒・転落	8件	その他	3 件			
表皮剥離・擦傷・切傷	2件					
服薬時事故	6件	計	19件			

(4) ゆとりの介護利用者様が笑顔で一日過ごせるようなレクリエーションを提供する

①看護職員による体操は、勤務日数や勤務時間の変更に伴い、二人勤務の日数が少なくなり実施することは難しくなりました。その代わり、レクレーションなどを活用した生活リハビリに力を入れ、毎月、各担当が工夫を凝らして、手・足運動、脳トレなどに取り組むことが出来ました。

②行事については、時季に応じた内容のものを取り入れ、毎月計画通り進めることが出来ました。ボランティア団体(年間:20団体・計119回)の協力を多く得て、楽しみあるサービスを提供できました。

【行事内容】

月	内容(日程)	詳細
4月	花見散歩(4/2~)	4/2 から花見散歩に出掛けて、記念写真を撮った。
5月	母の日(5/12)	カーネーションの花(手作り)を渡した。
6月	父の日(6/16)	手作りカラフルコマを作り渡した。
7月	七夕(7/7)	短冊紹介、七夕の歌を歌う。
8月	夏祭り(8/5)	サザエさんダンス、手品
9月	敬老週間(9/10~16)	記念に靴下を送る。ボランティア慰問、職員ダンス

10月	運動会(10/19~22)	4日間 景品に歯ブラシを渡す。
11月	文化祭(11/19~25)	7日間ボランティアの慰問
12月	クリスマス会(12/23~25)	ミニタオルのプレゼント
1月	お正月(1/2~6)	福笑い
2月	節分行事(2/3)	豆まき
3月	ひな祭り(3/3)	DVDの鑑賞とひな祭りの歌

	,	加修安守多加報古 「一」「「「」」「「」」「」「」「」「」「」「」「」「」「」「」「」「」「」「
月	部会日程	その他会議等・学習会・研修会等
		学 習 会 : パーキンソン病について
4月	4月17日	会議:職員全体会(法人全体)
4/3	4/1/1/	: 法人本部会議 2 回(法人全体)
		委 員 会:総務委員会(法人全体)
		学習会:感染症・食中毒予防及び蔓延防止について
		会議:法人本部会議2回(法人全体)
5月	5月15日	安 員 会:リスクマネジメント委員会(法人全体)
		内部研修:キャリアパス研修(労協連社会福祉法人協議会)
		学 習 会: 脱水について
6月	6月19日	会 議:法人本部会議 2 回(法人全体)
		外部研修:第1回中南勢研修(三重県デイサービス協議会)
		学 習 会:緊急時の対応について
		: 高齢者虐待防止について
		会議:職員全体会(法人全体)
7月	7月17日	: 法人本部会議 2 回(法人全体)
		- 公人不能公職 とは (公人工作)
		外部研修:介護サービス事業者集団指導(三重県福祉監査課)
		会 議:法人本部会議2回(法人全体)
8月	8月21日	委員会:総務委員会(法人全体)
		外部研修:認知症研修会(吉田福祉基金)
		学 習 会: コンプライアンスについて
۰. ت		会 議:法人本部会議2回(法人全体)
9月	9月18日	委員会:リスクマネジメント委員会(法人全体)
		外部研修:第2回中南勢研修(三重県デイサービス協議会)
		学習会:要介護度進行予防について
		: ハラスメント防止について
10 🗆	10 8 16 8	
10月	10月16日	会議:職員全体会(法人全体)
		: 法人本部会議 2 回(法人全体)
		外部研修:防災研修(松阪市介護サービス事業者等連絡協議会)
		学 習 会:身体拘束排除の為の取り組みについて
		会 議:法人本部会議2回(法人全体)
44 🗖	44 🗆 20 🗆	委 員 会:リスクマネジメント委員会 (法人全体)
11月	11月20日	: 衛生委員会 (法人全体)
		内部研修:キャリアパス研修(労協連社会福祉法人協議会)
		外部研修:居宅部会研修会(松阪市介護サービス事業者等連絡協議会)
40 🗆	12 - 10 -	
12月	12月18日	委員会:総務委員会(法人全体)
		内部研修:新規採用職員研修会(法人全体)
		会議:職員全体会(法人全体)
1 🖽	1月15日	: 法人本部会議 2 回(法人全体)
1月	1 12 12 11	: 協和苑改革 PROJECT 会議(協和苑全体)
		委員会:リスクマネジメント委員会(法人全体)
		学習会:プライバシー保護について
		会
2月	2月19日	云
		外部研修:第3回中南勢研修(三重県デイサービス協議会)
	<u> </u>	学習会:認知症及び認知症ケアについて
3月	3月18日	会 議:法人本部会議 2 回(法人全体)
		委 員 会:リスクマネジメント委員会(法人全体)

Ⅲ.短期入所生活介護事業所(ショートステイ)活動報告

【令和元年度 基本方針】

"思いやりと日々の学習を通じてより良い介護を目指す"

【令和元年度 業務目標】

- (1) ご利用者がこころ穏やかに過ごせる環境づくりに努めます
- (2) 自主的な学習の機会を設け、幅広い知見と専門性の獲得を目指します
- (3) 各職員の支援の統一を図り、個別対応の充実を目指す
- (4) 業務内容を見直し、充実したサービスの提供と適正な職場環境の両立を目指す
- (5)「感動と共感の職場風土」の醸成を目指します

1.業務目標の振り返り

(1) ご利用者がこころ穏やかに過ごせる環境づくりに努めます

- ①職員の対応に対する利用者からの苦情が数件ありました。日々利用者とのコミュニケーションを重ねることも重要だが、適切な距離感で接することを各職員が意識する必要があります。
- ②利用者のプライバシーにかかる苦情がありました。構造上やむを得ない事情もあるが、事前に説明を行う等、トラブルを未然に防ぐ工夫が必要です。

(2) 自主的な学習の機会を設け、幅広い知見と専門性の獲得を目指します

外部研修については、突発的な人員不足、世界的な感染症(新型コロナウイルス)の拡大等の影響もあり、なかなか計画通りに実施することが出来ませんでした。限られた時間を有効に活用するため、優先順位を決め(ポイントを絞り)、できる限りすべての職員が学習の機会を得られるように工夫していきます。

(3) 各職員の支援の統一を図り、個別対応の充実を目指す

事業部会や日々のミーティングの機会を活かし、職員間の情報の共有を図ってきました。今後は、 記録の電子化等を進め、さらに情報共有を円滑に行えるような環境を整えます。

(4) 業務内容を見直し、充実したサービスの提供と適正な職場環境の両立を目指す

日々の業務については、各職員からの意見を取り入れ、適宜、修正や変更を加えました。今後は、前述の記録の電子化等の抜本的な見直しを行い、限られたマンパワーを効率的に活用できるようにしていきます。

(5)「感動と共感の職場風土」の醸成を目指します

なかなか客観的な評価が難しいですが、掲げ続けることに意味があると思います。

2.各業務の実施内容について

(1) 日々のレクレーションの充実

職員数が少ない際のレクレーションの工夫が必要です。

(2)機能訓練、各種体操およびダンスの継続実施

既存の利用者データベースを活用し、機能訓練の可否を管理する方法に変更し、効率化をはかりました。(これまでは看護職員が日毎に介護職員に対して指示を出していた。)

(3) 日々の整容チェックの実施

変形等した爪の管理が課題です。備品(電動やすり等)も用意したが限界があります。

(4) 職員の資質向上のためのキャリアアップ研修、部内学習会等の活用

外部研修については、前述のとおり計画どおりに実施出来ませんでした。部内学習会については、 計画どおり実施出来ませんでしたが、優先順位をつけて実施することが出来ました。

(5) 感染対策の周知

感染症対策については、部内学習会等を通じてひととおり周知することが出来ました。また、新型コロナウィルスへの対応を通じて、感染症対策について具体的に、また段階的に実践できたことも財産になりました。

(6) 個別ケアの充実

- ①部会等を通じて各職員のアイデアや実践していることをある程度共有出来ました。ただ、各専門職がそれぞれの立場からもっと意見交換出来る機会を設けたいと思います。
- ②利用者の重度化が進行する中、結果的に4名の利用者を看取ることになりました。

(7) 安定稼働の確保

各職員が精力的に業務をこなし、概ね達成出来ました。

(8) 職員間の連携の強化

今以上に、記録の充実と集約化を進め、必要な情報が職員の目に入りやすいようにする工夫が必要です。

(9) 働きやすい職場環境の整備

- ①時間外勤務の削減についての対応が不十分です。ただ、問題の解決には業務を大きく変更する必要性があるため、時間をかけて検討する必要があります。
- ②各ハラスメントの対応については、引き続き学習会等を通じて防止に努めます。

(10) 事故防止について

- ①事故の種別としては、転倒・転落が一番多く、発生の時間帯は、午前中が一番多くなっています。 同じ利用者が繰り返し事故を起こしているケースも散見されます。
- ②最適解を出来るだけ早く見出すため、過去の対応(経験)を活かせるようにしていきます。
- ③事故の発生傾向を分析し、業務の見直し、職員の配置状況等について検討をする必要があります。

【事故種別】

転倒・転落	55 件	入浴時事故	3 件
表皮剥離・擦傷・切傷	11 件	火傷・熱傷	1件
服薬時事故	11 件	その他	4 件
打撲・内出血	4件	計	89 件

【発生時間】

23 時~2 時(夜休憩 1)	6件	12 時半~14 時半(午後 1)	9件
2 時~5 時 (夜休憩 2)	9件	14 時半~17 時(午後 2)	5 件
5 時~7 時半(起床)	14 件	17 時~18 時(夕食)	5 件
7時半~8時半(朝食)	5 件	18 時~20 時(就寝)	7件
8 時半~11 時半(AM・入浴)	20 件	20 時~23 時(夜間)	6件
11 時半~12 時半(昼食)	3 件	計	89 件

(11) 年間季節行事の実施

月	行事内容	月	行事内容
4月	花見&散歩	10月	秋のドライブ
5月	運動会	11月	共同作品制作 2
6月	共同作品制作 1	12月	クリスマス会
7月	七夕祭り	1月	新年会
8月	夏祭り	2月	節分
9月	敬老会	3月	ひな祭り
その他	誕生日会(月毎に開催)		

(12) その他

感染症対策について学習検討する機会はありましたが、利用者急変時(特に夜間)への対応等については課題が残ります。各専門職間で意見交換を行い、具体的な対応方法について検討する機会を設けたいと思います。

会議・委員会実施及び研修会等参加報告			
月	部会日程	その他会議等・学習会・研修会等	
4月	4月19日	学 習 会:介護記録について① 会 議:職員全体会(法人全体) :法人本部会議2回(法人全体) 委 員 会:総務委員会(法人全体)	
5月	5月24日	学 習 会:介護記録について② 会 議:法人本部会議2回(法人全体) 委 員 会:リスクマネジメント委員会(法人全体) 内部研修:キャリアパス研修(労協連社会福祉法人協議会)	
6月	6月21日	学 習 会 : 感染症対策(演習) 会 議 : 法人本部会議 2 回(法人全体)	
7月	7月19日	学 習 会:感染症対策(演習)会 議:職員全体会(法人全体):法人本部会議2回(法人全体) ま法人本部会議2回(法人全体) 要 員 会:リスクマネジメント委員会(法人全体) 外部研修:キャリアパス生涯研修会(三重県社会福祉協議会):介護サービス事業者集団指導(三重県福祉監査課)	
8月	8月23日	学 習 会: 感染症対策(演習) 会 議:法人本部会議2回(法人全体) 委員会:総務委員会(法人全体)	
9月	9月20日	学 習 会:感染症対策(演習) 会 議:法人本部会議2回(法人全体) 委員会:リスクマネジメント委員会(法人全体)	
10月	10月18日	学 習 会: 感染症対策について : ハラスメント防止について 会 議: 職員全体会(法人全体) : 法人本部会議 2 回(法人全体) 外部研修: キャリアパス生涯研修会(三重県社会福祉協議会) : 防災研修(松阪市介護サービス事業者等連絡協議会)	
11月	11月22日	学 習 会:感染症対策について : 夜間緊急対応について 会 議:法人本部会議2回(法人全体) 委 員 会:リスクマネジメント委員会(法人全体) : 衛生委員会(法人全体) 内部研修:キャリアパス研修(労協連社会福祉法人協議会)	
12月	12月20日	会 議:法人本部会議2回(法人全体) 委員会:総務委員会(法人全体) 内部研修:新規採用職員研修会(法人全体)	
1月	1月24日	学 習 会: 感染症対策(演習)会 議: 職員全体会(法人全体) : 法人本部会議 2 回 (法人全体) : 協和苑改革 PROJECT 会議 (協和苑全体) 委 員 会: リスクマネジメント委員会 (法人全体)	
2月	2月21日	学 習 会:介護事故とリスク管理について 会 議:法人本部会議2回(法人全体)	
3月	3月20日	会 議:法人本部会議2回(法人全体) 委員会:リスクマネジメント委員会(法人全体)	

IV.居宅介護支援事業所 活動報告

【令和元年度 基本方針】

利用者の意思及び人格を尊重し、常に利用者の立場に立って、公正、中立にケアマネジメント業務を遂行します。

1.活動報告

(1) 担当件数

目標には達しませんでしたが、介護予防・予防マネジメントの件数は増えつつあります。

令和元年度月平均 介護給付 83.5 件 予防総合給付 12.2 件

(2) ケアマネジメント

- ①重篤な疾患、認知症が進行しているケースも多く、本人家族の複雑な思いに添った援助を提供することが出来ました。
- ②困難事例も増えてきており行政、包括支援センター、民生委員を交えて検討する機会も増えました。地域のネットワークの構築に寄与する必要があります。

(3) 連携とスキルアップの為の行動

- ①主治・医専門医との連携、必要に応じ受診に同行し病状の把握連携を図りました。
- ②積極的に地域ケア会議・研修会等へ参加しました。
- ③事業所内で常に情報交換、課題の共有を図りました。(部会の定期開催)
- ④保険者、地域包括支援センター、サービス提供事業所との綿密な連携を行いました。
- ⑤地域の居宅介護支援事業所との協同の勉強会を行いながら、地域資源の発見につなげました。

(4) 地域支援

- ①包括支援センター等と連携し圏域の地域ケア会議に参加し、高齢者の実態・地域のニーズ把握 に努めました。
- ②在宅介護支援センターとして、地域の相談に対し必要に応じてサービス調整等を行いました。

月	部会日程	その他会議等・学習会・研修会等
4月	4月30日	会 議:職員全体会(法人全体) :法人本部会議 2 回(法人全体)
5月	5月6日	会 議:法人本部会議 2 回(法人全体) 外部研修:地域ケアネット(第一地域包括支援センター)
6月	6月14日	会 議:法人本部会議2回(法人全体)
7月	7月11日	学 習 会: 高齢者虐待防止について会 議: 職員全体会(法人全体): 法人本部会議2回(法人全体): 法人本部会議2回(法人全体)外部研修:介護サービス事業者集団指導(三重県福祉監査課): 神戸・徳和地区地域ケア会議(第一地域包括支援センター): 第3回研修会(介護支援専門員松阪支部): 地域ケアネット(第一地域包括支援センター)
8月	8月21日	会 議:法人本部会議2回(法人全体)
9月	9月18日	会 議:法人本部会議2回(法人全体) 外部研修:第2回研修会(松阪地域精神保健福祉連絡会) :地域後見サポート事業研修会(松阪市社会福祉協議会) :地域ケア会議(第四地域包括支援センター) :地域ケアネット(第一地域包括支援センター) :第3回きゃりああっぷ倶楽部(第五地域包括支援センター) :中央地区民生委員交流会(第四地域包括支援センター)

月	部会日程	その他会議等・学習会・研修会等	
10月	10月25日	学 習 会: ハラスメント防止について 会 議: 職員全体会(法人全体) : 法人本部会議 2 回(法人全体) 外部研修: すずの輪活用勉強会(松阪地域在宅医療・介護連携拠点)	
11月	11月15日	会 議:法人本部会議 2 回(法人全体) 外部研修:港・松ヶ崎地区地域ケア会議(第四地域包括支援センター)	
12月	12月27日	会 議:法人本部会議2回(法人全体)	
1月	1月15日	会 議:職員全体会(法人全体) : 法人本部会議 2 回(法人全体) : 協和苑改革 PROJECT 会議(協和苑全体) 外部研修:第8回研修会(介護支援専門員松阪支部) : 地域ケアネット(第一地域包括支援センター)	
2月	2月13日	会 議:法人本部会議2回(法人全体) 外部研修:第12回多職種勉強会(松阪地域在宅医療・介護連携拠点) :幸地区地域ケア会議(第一地域包括支援センター) :第9回研修会(介護支援専門員松阪支部)	
3月	3月12日	会 議:法人本部会議2回(法人全体)	

V.健康增進部 活動報告

1	【令和元年度	Ħ┿┿┹	" 六 、 六 人	満足な食事の提供に努めます。"	- 1
	【节利元生度	悬承力缸	安川•安全•	满足少食事(1)提供1. 多n) ± a	- 1
	L ISTHIOTING		20 21	一個人となる。 「他人」という。	- 1

1.活動報告

(1) 衛生管理の徹底

- ①出勤時の検温等の実施・記録、手洗い等の衛生管理を強化しました。配達業者への衛生管理についても徹底しました。
- ②毎月1回、油詰まりで不衛生になる排水管の掃除を始めました。

(2) 食事サービスの向上

盛付や味付けなど、出来る限り細やかな気配りに心掛け、利用者からの好評の声をいただくことが多くなりました。

(3) その他

- ①安心・安全を掲げており、事故やヒヤリハットは1度もありませんでした。
- ②非常勤職員が定着しない状態が続きましたが、業務の改善・簡素化等に努めました。
- ③電気スイッチ等の消す忘れが目立ちました。

月	部会日程	その他会議等・学習会・研修会等
4月		会 議:職員全体会(法人全体)
5月	5月31日	委 員 会:リスクマネジメント委員会 (法人全体)
7月	7月29日	学 習 会: 高齢者虐待防止について 会 議: 職員全体会(法人全体)
0 🗆		委員会: リスクマネジメント委員会(法人全体)
9月		委員会:リスクマネジメント委員会(法人全体)
10月		学 習 会:ハラスメント防止について 会 議:職員全体会(法人全体)
11月		委 員 会:リスクマネジメント委員会(法人全体)
1月	1月13日	会 議:職員全体会(法人全体) 委員会:リスクマネジメント委員会(法人全体)
3月		委 員 会:リスクマネジメント委員会 (法人全体)

令和元年度 特別養護老人ホーム愛生苑 事業報告

I. 入退居等の状況

・令和 2 年 3 月 31 日現在の入居者: 40 名 (男性 11 名・女性 29 名)

年齢平均:89.5歳(男性平均85.3歳・女性平均91.0歳)

最低年齢 66 歳・最高年齢 104歳

要介護度平均:4.1 (要介護5:11名・4:22名・3:7名)

- ・年間退居者10名(男性4名・女性6名)転院4名、死亡6名(内、看取り3名)
- ・年間入居者 10 名(男性 3 名・女性 7 名)空床最短 9 日~最長 19 日(平均 12.7 日)
- ・年間入院者 8名(肺炎・尿路感染・脱水症・骨折等) + ペースメーカー交換1名 平均入院日数14.1日(入院中死亡3名)

治療入院は急変による救急搬送2名・受診後の入院6名は、死亡及び治療終了しても食事の経口 摂取不可でご家族が経管栄養を望まれず退去に至った為、帰苑者1名でした。

・介護度変動(介護保険更新時):要介護3→4(3名)・3→5(1名)・4→5(1名)

Ⅱ.申込・待機者の状況

- ・平成31年4月1日~令和2年3月31日の申込数:66件(男性29件・女性37件)
- ・令和2年3月31日現在の待機者数:59名(男性24名・女性35名)

(要介護5:11名・4:23名・3:23名・2:2名)

昨年度の申込数(55件)に比べ11件多い申し込みでした。現在の待機者数は入居10件及び他施設入所・死亡による取消(66件)の変動から、昨年度末(48名)より11名増えています。

Ⅲ、主な取組内容

(1)施設サービス計画

毎月のユニット会議、定期及び状態変化時のカンファレンスにおいての意見交換・討議を通して現況と照らし合わせを行いプランの見直しを図ることで、充実した施設生活になるよう努めました。ご入居者・ご家族参加のカンファレンスは状況変化に応じての開催や課題の有無に関係なく短期計画期間ごとに開催しており、要望の聞き取りやご入居者の現状・支援状況の報告等を行いながら深く交流を図ることで、施設への理解や協力に繋がる良好な関係が築ける機会となっています。

(2)介護サービス

施設サービス計画・24 時間シートに基づき、業務マニュアル及びケアマニュアルに沿った統一ケア、個別の状況に応じたケア提供に努め、必要な見直しは会議等で随時検討・協議しました。報告・連絡・相談を適切に取り情報共有したチーム連携による支援を継続し、業務体制においてもご入居者を中心に行われるよう見直しを図っています。

(3)生活環境

毎月のユニット会議等で担当者を中心に気付き意見を出し合っての協議や、生活の中で起きる問題点の解決策をその都度講じるなど、常に環境改善に努めています。生活リズムの定着と共にご入居者と職員の信頼関係も深まり、顔馴染みの関係性が落ち着いて過ごせる安心環境となっています。しかし一部には関係性が狎れ合いになってしまうことがあり、言動がいき過ぎる職員へ注意を促すことや問題解決のためのユニット・居室移動や職員の配置編成など、ご入居者の安定生活が継続できるよう改善に努めています。

(4)健康管理

嘱託医の定期診療と看護師・介護員の日常観察による状態把握を行い、多少の変化にも状態報告 し連携対応しながら安定維持に努めました。看護師が状態により判断し嘱託医に相談・指示を仰 ぐと共に、往診対応や総合病院での検査受診を家族と相談して進めました。また、室温・湿度管 理、脱水・熱中症対策、衛生・環境消毒等の感染予防対策は重要であり、年間を通し予防に取り 組み、更に流行期は対策を強化しています。

(5)食事・栄養管理

手作りの食事を嗜好や咀嚼・嚥下機能の状態に応じ提供し、ご入居者への聞き取りの際にも「美味しい」と喜ばれています。入居者個々の栄養状態に対して関係職員が連携をとり必要な検討を行い栄養維持・改善に努めており、食欲低下状態が改善された方もありました。咀嚼・嚥下機能の低下による摂取量不足にはその方に適した形態・栄養補助食品の選別提供や食事介助を行っています。

(6)機能訓練

入居者の状況に応じ、体力・筋力の低下防止を目的とした運動を機能訓練指導員(看護職員兼務)が中心となり、介護職が協力連携して可能な限り実施しました。現在看護師 1 名不在のため継続的な実施が難しい状況にありますが、ご入居者の機能低下による重度化は介護負担増に繋がることであり、来期は個別に重点を絞り出来る限り継続実施に取り組み、日常生活を営むのに必要な機能低下防止に努めます。

(7)行事・余暇活動

フロアー別・ユニット別に施設内外での季節行事の実施や施設全体行事においても職員協力して 行い、音楽療法・ボランティア訪問の定期実施への参加など、ご入居者に楽しむ機会を多く提供 できるよう努めました。今期始動したサークル活動では楽しみながら職員と共に作品が完成し、 文化祭作品展に素敵な作品が出品できておりご家族にも喜んでいただけました。文化祭に招待し た町内老人会の方々とのふれあい交流は、ご入居者の笑顔が多く見られ楽しまれている様子がう かがえました。外出については計画的な外出に限らず、天候の良い時期には苑外へ出てリフレッ シュする機会を増やしていきます。

(8)職員育成

業務配置職員数の状況により研修への参加人数は限られていますが、職員の技術・知識向上、専門職としての自覚・意識向上を目指し、法人・施設内外の各研修の実施及び参加や、外部研修参加者からの伝達を行いました。また、時間外で行う施設内研修への参加人数が毎回限られているため、重要な伝達については資料配布に終わらずユニット会議にて行いました。外部研修は例年同様の研修参加となりマンネリ化から刺激が少ないため、必要とされる研修への幅広い参加や資格取得に向けた受講についても積極的に働きかけを行っていく必要があります。

(9)安定運営

退居から入居までの空室期間は昨年に比べると短縮できましたが、休日による関係機関との連絡の遅れやご家族都合、入居前の主治医への受診などの調整日数の影響がありました。更なる円滑な調整に取り組み入居率の安定を図ります。

(10) 安全管理

各種委員会の場を活用しリスクマネジメント体制の充実を図りながら、継続的に改善への取り組みに努めました。

①介護事故の件数は今期 45 件で、昨年 79 件、一昨年 75 件に比べ大きく減少しました。ご入居者の重度化や事故計上が多かった方の退居も関係していますが、未然に阻止したヒヤリハット報告も増えており、職員は事故発生の防止に努めています。

②感染症予防対策は年間を通して行い、インフルエンザ等の感染者を出すことはありませんでした。新型コロナウイルス感染症の感染拡大が全国的の懸念された2月より一層の対策強化を図り、

職員自身が感染しない・感染を広げない努力を日々継続しています。

- ③防災対策は防災への適切な対応が可能となるよう実際に近い想定での訓練を実施し、参加職員から意見聴取した課題や意見を次回に活かす改善に取り組ました。今後も様々な想定での避難訓練を繰り返し行っていくことで、どの職員も同レベルの動きがとれるよう目標を立て取組んでいきます。
- ④苦情は2件ありましたが、適切・誠実な対応を行い早期に解決ができました。問題解決のためのユニット移動に対しても、ご入居者本人やご家族の理解・協力が得られ、その後に問題なく安心生活が継続できています。

IV. 各部の取組報告

(1)ユニット1丁目

- ①24 時間シートの活用充実 … 同じ目標に向かって統一したケアを行えたと思います。一人一人のレベルが維持できるよう生活リハビリにも積極的に取り組みました。
- ②入居者の身だしなみ・環境づくり … ご入居者の清潔に気を配ることで、過ごしやすい空間を作れました。殆どを施設の中で暮らす方に、それぞれの季節を感じて頂けるようインテリアやレクリエーションを心掛けました。
- ③報告・連絡・相談の徹底 … 何か問題があれば他職員に相談し迅速に解決しました。

(2)ユニット2丁目

- ①24 時間シートの活用充実 … 24 時間シートの見直しを行うことで、ご入居者一人ひとりのケヘの取り組み方を統一することができました。
- ②職員間の連携強化 … 直ぐに情報伝達するために、目の付くところへメモを貼り付けることを心掛けることで、情報を共有する事ができました。
- ③居心地の良い環境づくり … 花や装飾することで喜んでいただけるよう努めました。イベントでは1丁目と合同開催することで入居者同士の交流もでき喜んでいただけたと思います。

(3)ユニット3丁目

- ①誠実・丁寧な対応 … 職員一人ひとりが、ご入居者との毎日の挨拶や会話から日々の体調の変化や希望を汲み取ることができ、24 時間シートの改善に繋がりました。
- ②自立支援・運動促進 … 日々の個別リハビリをしていく中で、努力される姿や少しずつ出来る事が増えて喜ばれる姿が見られました。これからも継続して取り組みます。
- ③住み心地の良い環境づくり … 季節を感じられる外出やイベントし、外に出ることが出来ない時でも喜んでもらえる工夫をし、穏やかに過ごせていただけたと思います。

(4)ユニット5丁目

- ①自立支援・運動促進 … トイレへの移動や機能訓練を行いながら、ご入居者に出来る限り残存機能を活かした運動支援が行えたと思います。
- ②皆で楽しめるイベント・行事企画 … 毎月季節に合った企画を立て、ご入居者が一緒に楽しめるように盛り上げました。また、外出する機会も増やしたことでご入居者に喜んでいただけたと思います。
- ③挨拶・声掛けによるコミュニケーション強化 … 朝や夜の挨拶を一人ひとりに行い、日常的に 声掛けや会話をしながらコミュニケーションを高め、ご入居者の要望や日々の変化に気付けたと 思います。

(5)医務室

- ①入居者一人ひとりの疾患に応じた健康管理 … 入居者の一人ひとりの疾患を把握した上で食事や排泄・体調の変化を日々観察し、異常時は主治医に連絡し指示を受けて状態悪化を防ぐことが出来たと思います。
- ②感染対策の徹底 … 昨年度もご入居者や職員にインフルエンザやノロウイルス等の感染はなく

元気に過ごしていただけました。今年度も引き続き感染症マニュアルに基づき対策の徹底をしていきます。

③個別機能訓練の実施 … 入居者一人ひとりのできる範囲内の安全に出来ることを計画していますが、日々の業務の中なかなかしっかり実施ができませんでした。今後も他職員の協力を得ながら実施していきたいと思います。

(6)健康増進部

- ①栄養管理の充実 … 食事時の観察や栄養モニタリングでご入居者の現状把握を行い、その都度各部の職員と検討しながら対応ができました。低栄養の方には栄養補助食品を提供し、誤嚥性肺炎を起こした方には現状を観察して形態変更し予防に努めています。
- ②衛生管理の徹底 … 食中毒や感染症対策は、職員一人ひとりが意識して手洗いや体調管理を行い対策ができました。勤務人数が少なく殆どの日が忙しい状況でした。来期は余裕を持った勤務体制を取りたいです。
- ③美味しい食事作り … なるべく既製のものを使わず手作りの食事を提供することができました。新しいメニューの提供はあまり行うことができませんでした。

V. 活動実施報告

(1)イベント開催

(施設全体) いちご狩り、夏祭り、文化祭、獅子舞、初詣、合同レク (フロアー毎)

- 1・2 丁目: 桜花見、紫陽花見学、苑外散策、運動会、クリスマス会、節分会、雛祭会
- 3・5 丁目: 桜花見、外出(買物)、紫陽花見学、運動会、クリスマス会、節分会

(ユニット毎)

- 1丁目:誕生日会、七夕会、敬老会、外出(買物・喫茶)、外食、新年会
- 2丁目:誕生日会、七夕会、敬老会、苑外散策、新年会
- 3丁目: 誕生日会、七夕会、買物ツアー、敬老会、新年会、雛祭会
- 5丁目:誕生日会、七夕会、敬老会、外出(買物・ドライブ)、おやつレク、新年会、雛祭会
- (慰問等)・音楽療法:毎月1回(3月中止)
 - ・ボランテイア:4月2回、5月2回、6月2回、7月3回、8月2回、9月4回 (訪問5件) 10月3回、11月3回、12月4回、1月2回、3月2回

(2)サークル活動

- ・手芸(5月・10月):6名 ・押し花(6月・11月):6名 ・書道(7月):6名
- ・工作(9月2回):5名 ・園芸(10月):6名 ・パン作り(12月):6名
- ・カラオケ(1月・2月): 全員

(3)各会議及び委員会

- ・特養部会(施設内全職員):計3回(6月、9月、12月)
- ・ユニットリーダー会議 (ユニットリーダー、看護師、相談員、施設長):毎月2回
- ・ユニット会議 (ユニットメンバー、相談員、施設長):各ユニット毎月1回
- ・入居検討委員会 (ユニットリーダー又はメンバー、看護師、相談員、施設長):毎月1回
- ・給食会議(栄養士、ユニットリーダー、看護師、相談員、施設長):毎月1回
- ・安全委員会 (ユニットリーダー、看護師、栄養士、相談員、施設長):計3回(5月10月1月)
- イベント会議(ユニットリーダー、相談員、施設長):計4回(4月6月7月10月)
- ・感染症対策委員会(リーダー、看護員、栄養士、施設長): 計4回(6月10月12月3月)
- ・事故防止検討委員会 (ユニットリーダー、看護員、施設長):計4回(4月7月11月1月)
- ・身体拘束防止委員会(リーダー、看護員、相談員、施設長):計5回(5月8月9月10月1月)
- ・リスクマネシ・メント委員会 (ユニットリーダー、看護員、栄養士、相談員、施設長): 合同開催 6 回 (事故防止検討・苦情相談検討:5月9月1月3月、感染症対策・防災対策:5月7月11月3月)

- ・総務委員会/学習、研修、広報(介護員・施設長):合同・計3回(4月8月12月)
- ·衛生委員会 (相談員·施設長): 合同1回 (11月)

(4)職員研修

- (外部)・吉田福祉基金研修(認知症、接遇マナー、介護技術、感染症対策・口腔ケア、リーダー育成)
 - ・キャリアパス対応生涯研修(中堅職員コース、チームリーダーコース)
 - ・介護施設等における権利擁護推進員養成研修
 - 防災研修会・介護施設等看護実務者研修
 - · 川ウイルス予防対策講習会 · 給食施設管理者研修
- (内部)・キャリアパス研修(高齢者虐待防止、介護事故とリスク管理)
 - ・委員会研修(誤薬・誤嚥事故予防、感染症予防法と対策、ノロウイルス嘔吐処理方法)
 - ・救命救急講習・熱中症予防
 - ・喀痰吸引等認定職員への定期研修(喀痰吸引・胃瘻注入手技確認、心肺蘇生訓練)

(伝達研修) 外部及びキャリアパス研修参加者より、特養部会・ユニット会議にて実施

(5)介護体験学習受入: 4名(皇学館大学)

- (6)防災避難訓練:2回(自主訓練)・応急処置講習(南消防署消防隊員)
 - ・ 4月:火災通報装置取扱・初期消火・避難誘導訓練・消火器訓練
 - ・10月:火災通報装置取扱・初期消火・避難誘導訓練・避難用滑り台訓練 心肺蘇生法・AED 取扱い